

令和 7 年 度

主要施策の成果に関する調書

観光・文化スポーツ部

目 次

4 地域を愛し世界に通用する人材の育成、文化・スポーツの振興	3
(1) 文化の薫り高いふるさとかごしまの形成	3
① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実	3
② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用	9
③ 文化芸術に係る人材の育成	12
④ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信	13
(2) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興	14
① スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化	14
② 良質なスポーツ環境の提供	16
 11 観光の「稼ぐ力」の向上	18
(1) 国内外における戦略的なPRの展開	18
① 多彩な魅力を活用したPRの展開	18
② Web等を活用したプロモーションの展開	19
(2) 魅力ある癒やしの観光地の形成	21
① 観光関係施設等の整備	21
(3) 戦略的な誘客の展開	24
① 観光客の来訪の促進等	24
② 外国人観光客の来訪の促進等	41
③ スポーツキャンプ等の誘致	49
(4) オール鹿児島でのおもてなしの推進	52
① 全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備	52
 16 原油価格・物価高騰等総合緊急対策	54
(1) 原油価格・物価高騰等総合緊急対策	54

4 地域を愛し世界に通用する人材の育成、文化・スポーツの振興

(1) 文化の薫り高いふるさとかごしまの形成

① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	28,864	4,600	11,000	13,264	28,088	4,584	11,000	12,504
内 訳	青少年のための芸術鑑賞事業	2,514	—	2,514	2,508	—	—	2,508
	文化の薫り高いかごしま形成事業	13,262	1,350	10,000	12,707	1,342	10,000	1,365
	「県民の日 7.14」記念事業	627	—	627	618	—	—	618
	奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）	5,737	3,250	1,000	5,652	3,242	1,000	1,410
	国際音楽交歓コンサート 2025「鹿児島公演」開催事業	3,700	—	3,700	3,603	—	—	3,603
	かごしま文化芸術活動促進事業	1,025	—	1,025	1,001	—	—	1,001
	文化芸術推進基本計画策定基礎調査事業	1,999	—	1,999	1,999	—	—	1,999
	文 化 施 設 費	695,459	—	532,923	567,005	2,292	492,897	71,816
内 訳	文化施設活性化事業	403,740	—	356,130	403,736	2,292	356,276	45,168
	文化施設整備事業	291,719	—	176,793	163,269	—	136,621	26,648
計	724,323	4,600	543,923	175,800	595,093	6,876	503,897	84,320

文化施設整備事業 翌年度への繰越額 126,527 千円

(1) 青少年のための芸術鑑賞事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

県内各地において、小・中学校及び特別支援学校の児童生徒等を対象に、優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に関する興味・関心を喚起するとともに、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 内 容

器楽、声楽、邦楽、パレエ、日本舞踊

イ 公演数及び鑑賞者数

年度	公演数	鑑賞者数
R5	9 公演	1,497 人
R6	9 公演	2,338 人
R7	9 公演	1,412 人

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県内各地の児童生徒等に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

(2) 文化の薫り高いかごしま形成事業（文化振興課）〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

県内の文化芸術活動のうち、①県民の身近な場所での文化芸術鑑賞機会の提供、②活動員の高齢化が進む団体の次世代への活動継承、③観光、まちづくり等との連携及び④国内外で活躍できる若手アーティストや文化芸術活動の指導者などの人材の育成に資する取組に対し助成を行う。

また、県民の文化芸術に関する活動への参加促進及び鑑賞機会の充実につなげるため、県下の文化芸術団体・個人の活動等に関する情報の発信・提供及び相談対応等の機能を備えたサイトを整備する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 文化の薫り高いかごしま形成事業

（ア）鑑賞機会提供支援（補助率：2分の1以内 上限 500 千円）

- ・文化芸術に触れる機会の少ない地域において文化芸術の鑑賞機会を提供する取組
- ・子どもたちの文化芸術活動や鑑賞機会の充実に向けた取組

応募数	助成数	助成額
26 件	19 件	6,449 千円

（イ）活動継承支援（補助率：2分の1以内 上限 300 千円）

活動員の減少や高齢化が進む団体等が活動継承を図る取組

応募数	助成数	助成額
3 件	2 件	570 千円

（ウ）観光、まちづくり等との連携支援（補助率：2分の1以内 上限 500 千円）

観光、まちづくりと連携した文化芸術の振興に寄与する活動のうち、新規性及び集客効果等が見込まれる取組

応募数	助成数	助成額
4 件	4 件	1,203 千円

（エ）人材育成支援

a 国内外で活躍する人材育成を行う取組（補助率：2分の1以内 上限 500 千円）

県内で文化芸術活動を行う人材を、国内外で活躍する人材へと育成するための取組

応募数	助成数	助成額
3 件	2 件	999 千円

b 自身の技術の向上を図る取組（補助率：3分の2以内 上限 500 千円）

国内外で活躍を目指す若者が、コンテストや講習会への参加等により、自身の技術向上を図る取組

応募数	助成数	助成額
2 件	2 件	559 千円

c 自身の技術の向上を図る取組（補助率：2分の1以内 上限 100 千円）

文化芸術活動を支える指導者やスタッフが、講習会への参加等により、自身のスキルアップを図るための取組

応募数	助成数	助成額
2 件	2 件	163 千円

イ 文化芸術情報発信サイト構築事業

令和8年3月27日に開設

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県民の文化芸術活動や鑑賞機会等の充実に資することができた。また、県内の人材育成を図ることができた。

（3）「県民の日 7.14」記念事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

「県民の日（7月14日）」が、ふるさとを愛する心を育むとともに、県民一人ひとりが自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島県の未来について考える日となるよう、関連事業を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

県民の日の認知度向上

ア 記念イベントの実施

(ア) 県出身アーティストによる絵画作品展示等

- a 期 日 令和7年7月1日～令和7年7月29日
- b 場 所 県庁1階エントランスホール、18階展望ロビー
- c 内 容 絵画展示

(イ) 御楼門2階特別公開・鹿児島城本丸跡史跡巡りツアー

- a 期 日 令和7年7月14日
- b 場 所 御楼門（歴史・美術センター黎明館）
- c 参加者数
 - ・御楼門2階特別公開 35名
 - ・鹿児島城本丸跡史跡巡りツアー 31名

イ 県有施設の入館・入園料の無料化（7月14日）（単位：人）

施設名	入場者数
歴史・美術センター黎明館	257
霧島アートの森	60
奄美パーク	186
屋久島環境文化村センター	52
フラワーパークかごしま	95
県立博物館プラネタリウム	44
上野原縄文の森	95
計	789

ウ 市町村及び民間文化施設の取組

43市町村及び民間の7文化施設において、入館料等の無料化やイベント等が実施された。

エ 学校における取組

県内の約7割の小・中・高校において、鹿児島県の歴史や文化に関する書籍の展示や県民の日に関連した授業などの取組が行われた。

オ 県シンボルマークカラー（青色系統色）による県下一斉ライトアップの実施

- ・公共施設など 10施設

カ 「県民の日」にちなんだ商品やサービスの提供

- ・ホテル、飲食店、旅行者など 86店舗等

〈3〉施策の実施による成果（アウトカム）

県内の小・中・高校等の児童・生徒など、県民に一定の周知が図られた。

(4) 奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）（文化振興課）〈地方創生関連事業〉

〈1〉施策の目的

世界自然遺産に登録された奄美の独自の文化である島唄の魅力を発信することにより、奄美の自然や文化に対する理解を深める。

〈2〉施策の実施状況（アウトプット）

- ア 公演名：ほこらしや奄美音楽祭 in 徳之島
- イ 開催日：令和8年1月31日
- ウ 開催地：徳之島町（徳之島町文化会館）
- エ 内 容：伝統芸能、演劇、ポップス、オーケストラ、島唄、島唄とオーケストラとのコラボ企画曲
入場者数 529人

〈3〉施策の実施による成果（アウトカム）

島唄を中心に他のジャンルの芸能を組み合わせることで、奄美の多彩な文化の魅力を発信することで、文化芸術への関心を高め、奄美の自然や文化への理解の促進を図ることができた。

(5) 国際音楽交歓コンサート 2025「鹿児島公演」開催事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

世界有数の音楽院出身者等をはじめとする一流の音楽家を招へいし、コンサートを開催することで、本県のクラシック音楽の普及と国際交流の促進を図る。（（公社）国際音楽交流協会との共催事業）

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 公 演 名：国際音楽交歓コンサート 2025「鹿児島公演」

イ 開 催 日：令和7年10月5日

ウ 開 催 地：出水市（マルマエホール出水（文化会館））

エ 内 容：ピアノ、ヴァイオリン、声楽によるクラシックコンサート

オ 入場者数：600人

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県民に、世界の一流の音楽家によるコンサートを鑑賞する機会を提供することで、本県のクラシック音楽の普及と国際交流の促進を図ることができた。

(6) かごしま文化芸術活動促進事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

県民や文化芸術団体等が一堂に会して、日頃の活動の成果を発表する「県民文化フェスタ」の開催を支援する。

令和7年度は志布志市及び鹿児島市で開催

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 行 事 名：①県民文化フェスタ in おおすみ 2025～伝統芸能と舞踊～ ②県民文化フェスタ in かごしま 2025

イ 開 催 日：①令和7年8月31日 ②令和7年10月5日、令和7年12月4日～7日

ウ 会 場：①コミュニティセンター志布志市文化会館 ②宝山ホール（舞台発表）、かごしま県民交流センター（作品展示）

エ 内 容：①伝統芸能や舞踊の発表 ②オペラ、吹奏楽等の発表、北薩地域の美術作品や文芸作品に関する展示、戦後80年を迎え思想と文学の面から戦争を振り返る展示

オ 入場者数：①710人 ②246人（舞台発表）、440人（作品展示）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

「県民文化フェスタ」の開催により、県内の文化芸術団体等の活動の促進を図るとともに県民の文化芸術活動に対する関心を高めることができた。

(7) 文化芸術推進基本計画策定基礎調査事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

第2期文化芸術推進基本計画の策定に合わせて、本県の文化芸術活動の現状・課題や県民ニーズ等を調査する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 調査対象：一般県民、文化芸術団体、県内障害福祉サービス事業所

イ 配 布 数：1,909

ウ 回 答 数：1,221

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県内の文化芸術活動の現状等を把握し、今後の文化振興行政推進のための基礎資料とすることができた。

(8) 文化施設活性化事業（文化振興課） 〈一部地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

文化センター、みやまコンセール、霧島アートの森の3施設について、効率的で円滑な管理・運営を図るとともに、文化拠点施設としての機能活性化を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウツプット)

文化センター活性化事業、みやまコンセール活性化事業、霧島アートの森活性化事業

文化センター、みやまコンセール、霧島アートの森の各施設について、指定管理者である公益財団法人鹿児島県文化振興財団において、施設・設備等の維持管理、文化事業の企画及び実施、施設の利用許可・利用料金の徴収に係る業務を行った。

〔文化センター〕

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術鑑賞事業	・第46回霧島国際音楽祭「宝山ホール祭り」 ・第46回霧島国際音楽祭キリシマ祝祭管弦楽団公演 ・2025 かがしま県民第九演奏会 ・宝山プレゼンツ カルテット・アマービレ ・ミュージカル「クリスマス・キャロル」 - など	10	9,321人
文化芸術活動支援事業	・第74回鹿児島県高等学校音楽祭 ・鹿児島交響楽団第102回定期演奏会 ・若葉 Festival ・デリバリー・ミニコンサート - など	16	21,017人
文化芸術に関する情報収集 ・提供事業	・財団情報誌「憩」の作成・配布 ・ボランティアスタッフによる広報活動 - など	3	—

〔みやまコンセール〕

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	・みやまコンセールパイプオルガン 完成記念コンサート ・チェロまるフェスタ 2025 ・霧島芸術の森を巡る旅コンサート - など	8	6,912人
文化芸術鑑賞事業	・第93回日本音楽コンクール受賞記念演奏会 ・みやまふれあいコンサート - など	7	1,638人
霧島国際音楽祭運営事業	・第46回霧島国際音楽祭 令和7年7月18日～8月3日 - みやまコンセールを中心に、国内外の著名な音楽家や多数の受講生を招き演奏会と講習会を開催し、本県の音楽文化振興と若手演奏家の育成を図った。	—	10,041人
文化芸術活動支援事業	・おとどけコンサート・さてらいとコンサート ・みやま音楽アカデミー - など	18	13,319人

〔霧島アートの森〕

区 分	内 容	入場（参加）者数
文化芸術普及事業	・開館 25 周年記念特別企画展水木しげる魂の漫画展 ・霧島アートの日 11 月 3 日 - など	29,748 人
文化芸術鑑賞事業	・野外常設展（通年） ・屋内コレクション展（年 4 回） ・園内ツアー（通年）	58,209 人

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

各施設の適切な維持管理が行われたほか、各種文化事業を通じて県内外の方々に文化芸術に触れ親しむ機会を提供することができた。

（9）文化施設整備事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

文化センター、みやまコンセール及び霧島アートの森の機能の維持・充実を図るため、施設・設備等の補修等を行う。また、霧島国際音楽祭の魅力向上と集客促進を図るため、みやまコンセールへのパイプオルガンの整備を進める。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

施設機能の維持・充実を図るため、霧島アートの森の空調設備改修等を行った。また、みやまコンセールに設置されたパイプオルガンの整音、調律、パイプオルガン用 LED 照明の設置等を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県民の文化芸術活動の拠点施設としての機能の維持・充実が図られた。また、パイプオルガンの整備が完了し、県民の音楽文化活動の充実が図られた。

② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
黎 明 館 費	252,202	7,807	154,881	89,514	249,670	7,690	155,835	86,145
内 黎 明 館 常 設 展 示 運 営 事 業	27,262	—	292	26,970	26,413	—	106	26,307
黎 明 館 企 画 展 示 事 業	14,269	—	1,589	12,680	13,959	—	2,729	11,230
黎 明 館 資 料 収 集 整 備 事 業	2,101	—	—	2,101	1,650	—	—	1,650
県 史 料 編 さん 事 業	24,593	—	12,000	12,593	24,121	—	12,000	12,121
黎 明 館 維 持 補 修 事 業	163,674	—	141,000	22,674	163,674	—	141,000	22,674
鹿 児 島 城 跡 保 全 整 備 事 業	16,887	7,807	—	9,080	16,496	7,690	—	8,806
歴 史 ・ 文 化 ゾ ー ン 活 性 化 事 業	3,416	—	—	3,416	3,357	—	—	3,357
計	252,202	7,807	154,881	89,514	249,670	7,690	155,835	86,145

(1) 黎明館常設展示運営事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心を深めるため、鹿児島県の過去から現在までの姿を各種資料等で紹介する常設展示室の運営や企画展示等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 常設展示室開館

年度	開館日数	観覧者数
R5	307 日	51,042 人
R6	304 日	50,313 人
R7	306 日	53,584 人

イ 企画展示開催

展 示 名	期 間	観覧者数
装いの民俗	令和 7 年 6 月 12 日～8 月 31 日	8,400 人
古代南九州における仏教の広がり	令和 7 年 9 月 11 日～11 月 30 日	8,842 人
鯨島白鶴の人と書と	令和 7 年 12 月 11 日～令和 8 年 3 月 1 日	6,132 人
中世武士の戦いと生活	令和 8 年 3 月 12 日～5 月 31 日	※13,483 人

※うち令和 7 年度中は 2,820 人

ウ 体験学習講座

1 回開催、受講者数 36 人

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(2) 黎明館企画展示事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

黎明館の自主企画による企画特別展等を行うことにより、本県の歴史や文化遺産等に対する県民の理解と関心を深める。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 黎明館企画特別展「島津家と伊達家」令和 7 年 9 月 26 日～11 月 3 日、入場者数 6,039 人

イ 黎明館講演会 5 回開催、入場者数 507 人

ウ ふるさと歴史講座 1 回開催、受講者数 52 人

エ 古文書講座 8 回開催、受講者数 38 人（延べ 226 人）

オ 学芸講座 11 回開催、受講者数 597 人

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

（3）黎明館資料収集整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

本県関係の歴史資料を調査・収集の上、整理・保存するとともに専門的・学術的な調査・研究を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アトフット）

令和 7 年度収集資料 387 点

令和 7 年度末累計 183,310 点

「黎明館調査研究報告第 38 集」を刊行した。

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

本県関係の歴史資料の収集や保存、専門的・学術的な調査・研究が図られた。

（4）県史料編さん事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

本県の史料を編さんし、本県歴史の学術的研究と教育・文化活動の発展に寄与する。

＜2＞ 施策の実施状況（アトフット）

「旧記雑録拾遺神社調五」、「市来四郎史料六・黒田清隆史料一」を刊行した。

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

本県の基礎史料の整備が図られた。

（5）黎明館維持補修事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

黎明館の維持・充実を図るため、施設・設備等の補修等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アトフット）

第 2・第 3 特別展示室の照明設備の LED 化を行った。また、電気設備の更新等を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

第 2・第 3 特別展示室の照明設備の LED 化により、展示品に合わせた最適な照明が可能となり、展示室の機能が向上するなど、県民の歴史文化の拠点施設としての機能の維持・充実が図られた。

（6）鹿児島城跡保全整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館）） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

史跡鹿児島城跡の保存や整備に関する将来的な共通の指針である「史跡鹿児島城跡保存活用計画」を、策定する。また、鹿児島城跡の歴史的価値や特徴などについて広く県民に周知、情報発信することにより、県民が鹿児島城跡の魅力を認識し、保存活用について意識を向上させることにつなげる。

＜2＞ 施策の実施状況（アトフット）

ア 専門家検討会議や担当者会議の結果を踏まえた「史跡鹿児島城跡保存活用計画」の作成・刊行、縄張り図の作成

イ 整備基本計画の内容のための史跡の地形測量図の作成

ウ 史跡鹿児島城跡保全整備専門家検討会議を開催（令和 7 年 8 月 29 日、12 月 25 日）

エ 史跡鹿児島城跡担当者会議を開催（令和 7 年 4 月 23 日、8 月 1 日）

オ 鹿児島城跡に関する価値や魅力を発信するシンポジウムを開催（御楼門開門 5 周年記念鹿児島城跡シンポジウム）

（ア）開催日：令和 7 年 9 月 6 日

(イ) 場 所：歴史・美術センター黎明館

(ウ) 参加者：143 人

カ 保存活用計画についてパブリック・コメントを実施した。

対象	国史跡鹿児島城跡保存活用計画（素案）
期間	令和 7 年 12 月 17 日～令和 8 年 1 月 16 日
結果	意見数：0 件

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

「史跡鹿児島城跡保存活用計画」の策定及び刊行により、史跡鹿児島城跡の保存活用に対する県民の意識の向上が図られた。

また、史跡鹿児島城跡の地形測量図を作成し、保存活用計画策定後に実施する整備基本計画の策定に備えることができた。

(7) 歴史・文化ゾーン活性化事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

歴史・文化ゾーンや城山を含む一帯が、県民をはじめ国内外の人が集う歴史・文化芸術や観光の拠点となるよう同エリアの高付加価値化や更なる充実に向け、意見交換会やイベントを実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 歴史・文化ゾーン活性化に係る意見交換会を開催（令和 8 年 2 月 20 日）

イ 歴史・文化ゾーン回遊性向上イベント「鹿児島城跡 中秋の宴」を開催

(ア) 開催日：令和 7 年 10 月 26 日

(イ) 場 所：歴史・美術センター黎明館

(ウ) 参加者：71 人

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

令和 5～7 年度に意見交換会参加団体（市関係課及び民間団体等）が行った活動や課題等をまとめた「最終とりまとめ」を作成し、団体間で歴史・文化ゾーンの活性化に向けた認識を共有できた。

イベントを通して歴史・文化ゾーンの魅力発信及び交流人口の拡大が図られた。

③ 文化芸術に係る人材の育成

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	7,643	—	—	7,643	6,779	—	—	6,779
内 文化行政推進体制整備事業 訳	7,643	—	—	7,643	6,779	—	—	6,779
計	7,643	—	—	7,643	6,779	—	—	6,779

(1) 文化行政推進体制整備事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

芸術文化奨励賞授与や文化芸術振興審議会の開催、文化振興推進員の設置等により本県文化の振興を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 芸術文化奨励賞

- ・授 賞 式：令和7年11月27日
- ・受 賞 者：個人の部 美術部門 有山 勝英氏
個人の部 音楽部門 有村 航平氏

イ 文化芸術振興審議会

令和7年度は計画策定のため年3回開催

(ア) 第1回

- ・期日：令和7年8月8日
- ・会場：県庁18階特別会議室
- ・出席委員：13人/17人中
- ・議題：(1) 会長及び副会長の選出について
(2) 県文化芸術推進基本計画（第2期）策定について
(3) 県文化芸術の振興に関するアンケート調査について

(イ) 第2回

- ・期日：令和7年11月14日
- ・会場：県庁18階特別会議室
- ・出席委員：15人/17人中
- ・議題：(1) 第1期県文化芸術推進基本計画の取組実績について
(2) 文化芸術の振興に関するアンケート調査結果について
(3) 第2期県文化芸術推進基本計画（素案）について

(ウ) 第3回

- ・期日：令和8年2月16日
- ・会場：県庁18階特別会議室
- ・出席委員：14人/17人中
- ・議題：(1) パブリックコメントの実施結果等について
(2) 第2期県文化芸術推進基本計画（案）について

ウ 文化振興推進員

- ・設置人数：1人
- ・業務内容：県民文化フェスタ等における関係団体との調整等
- ・任 期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

芸術文化奨励賞授与や文化振興推進員の設置を通じて、本県文化行政の推進を図ることができた。

④ 文化芸術を通した国内外との交流促進と情報発信

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	8,775	—	—	8,775	8,281	—	—	8,281
内 訳 文化芸術交流促進事業	8,775	—	—	8,775	8,281	—	—	8,281
文 化 施 設 費	39,349	—	33,000	6,349	39,349	—	33,000	6,349
内 訳 文化施設活性化事業 (霧島国際音楽祭運営事業)(一部再掲)	39,349	—	33,000	6,349	39,349	—	33,000	6,349
計	48,124	—	33,000	15,124	47,630	—	33,000	14,630

(1) 文化芸術交流促進事業（文化振興課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

海外の文化芸術団体等の文化交流の促進を図り、国際性豊かな感性をそなえた県民の育成や特色ある郷土文化の発展に資することを目的として、香港、シンガポール、全北特別自治道（韓国）との交流会議における合意事項に基づき、文化芸術団体を隔年おきに相互に派遣（受入）する。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア シンガポールとの文化芸術交流

(ア) 派遣団体「霧島市立国分中央高等学校ダンス部」29人

(イ) 日程 令和8年2月24日～3月3日

(ウ) 内容 チンゲイパレードへの出演（令和8年2月27日、28日）

イ 全北特別自治道との文化芸術交流

(ア) 派遣団体「志布志ちりめん太鼓」19人

(イ) 日程 令和7年8月16日～8月20日

(ウ) 全州世界ソリ祝祭での公演（令和7年8月17日）、益山高校での公演・交流（令和7年8月18日）

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

国内外の文化芸術団体や高校生との交流等を実施することで相互の文化芸術への取組の理解につなげることができた。

(2) 文化施設活性化事業（霧島国際音楽祭運営事業）（文化振興課）〈地方創生関連事業〉（一部再掲）

4 (1) ①(8)において前述

(2) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興

① スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	22,921	—	2,600	20,321	22,106	—	3,600	18,506
内 訳								
かごしまスポーツチ ーム支援事業	15,000	—	—	15,000	15,000	—	—	15,000
スポーツかごしま活 性化事業	7,921	—	2,600	5,321	7,106	—	3,600	3,506
計	22,921	—	2,600	20,321	22,106	—	3,600	18,506

(1) かごしまスポーツチーム支援事業（スポーツ振興課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

スポーツを核とした交流人口の拡大や地域活性化などにより、元気で活力ある地域づくりを推進するため、県内に本拠地を置くプロスポーツチーム等を支援する。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 法人格を有し収支決算の公表がなされ、かつ県内市町村が財政支援を行っている以下のチームに対し広告料を支出

- ・鹿児島ユナイテッド F C
- ・鹿児島レブナイズ
- ・フラウゴラッド鹿児島
- ・シエルブルー鹿屋
- ・MORI ALL WAVE KANOYA

イ その他側面的な支援

- ・公式インスタグラム、フェイスブック等を活用したホーム戦日程等の広報
- ・県庁舎等でのチラシの配布、ポスターの掲示
- ・県政広報番組を活用したチームの P R

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

有料観戦興行を行うチームの観客数の増加

- ・鹿児島ユナイテッド F C :2025 シーズン 130,354 人（前年比 5,030 人増、4.0%増）
- ・鹿児島レブナイズ:2025-2026 シーズン 92,678 人（前年比 15,182 人増、19.6%増）
- ・フラウゴラッド鹿児島:2025-2026 シーズン 13,330 人（前年比 1,741 人増、15.0%増）

※シエルブルー鹿屋、MORI ALL WAVE KANOYA は観戦無料

(2) スポーツかごしま活性化事業（スポーツ振興課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

かごしまのスポーツ資源などを活用して、スポーツに親しむ機会を創出し、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化を図る。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア スポーツイベント等を開催する団体に対する助成

地域資源との相乗効果による持続可能な交流人口の拡大に資する継続的なスポーツイベント等の開催に要する経費の一部を助成（7 団体）

イ スポーツかごしま活性化連絡会の運営

県内に本拠地を置くプロスポーツチーム等の連携による認知度向上の取組を推進

（連絡会の開催：2 回、連携 P R 活動の実施：7 回）

ウ かごしまスポーツ応援団体の認定

スポーツ振興の取組を積極的に応援する県内の企業等を「かごしまスポーツ応援団体」として、令和4年度から29団体を認定し、本県スポーツを支える重要な資源として、その取組等を県民に周知することにより企業等がスポーツを応援する機運を醸成し、本県のスポーツ振興を図った。

エ 薩摩おいどんリーグ2026における本県PRの実施

カテゴリーの枠を超えた大規模な野球の交流戦である「薩摩おいどんリーグ」において、配信映像や大会HP、球場横断幕における広告の掲出や来場者に対する観光等PRを行い、本県のPRを実施した。

※薩摩おいどんリーグ2026

日程：令和8年2月21日～3月8日 16日間

開催市：鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、薩摩川内市、姶良市、日置市

会場数：11会場

＜3＞施策の実施による成果(アウトカム)

県内で新たなスポーツイベント等の開催が促進されたほか、かごしまスポーツ応援団体の認定や薩摩おいどんリーグ2026の開催により、スポーツを核とした交流人口の拡大や地域活性化が図られた。

ア 開催助成を行ったスポーツイベント等

参加者数：4,875人

来場者数：17,711人

イ 薩摩おいどんリーグ2026

参加者数：3,043人

来場者数：27,520人

② 良質なスポーツ環境の提供

(単位：千円)

予 算 科 目		予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
			国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
企 画 総 務 費		29,398	—	2,151	27,247	28,675	—	2,151	26,524
内 訳	スポーツ・コンベンションセンター整備事業	25,966	—	—	25,966	25,730	—	—	25,730
	スポーツ・コンベンションセンター検討事業	3,432	—	2,151	1,281	2,945	—	2,151	794
計		29,398	—	2,151	27,247	28,675	—	2,151	26,524

(1) スポーツ・コンベンションセンター整備事業（スポーツ・コンベンションセンター整備課）

＜1＞ 施策の目的

ア 交通量調査事業

スポーツ・コンベンションセンターの設計の実施に当たり、施設本体の配置や向き、敷地の出入口等の検討に必要な周辺の交通状況等を把握するため、交通量調査を実施する。

イ 設計審査会運営事業

スポーツ・コンベンションセンターの設計者の選定に当たり、中立かつ公正な審査及び評価を行うため、学識経験者等で構成する審査会を設置・運営する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウット）

ア 交通量調査及び将来の交通量予測

設計の実施に当たり、施設本体の配置や向き、敷地の出入口等の検討に必要な周辺の交通状況等を把握するため、現況の交通量調査及び将来の交通量予測を実施

- ・委託先：株式会社オリエンタルコンサルタンツ 鹿児島事務所 ※指名競争入札により選定
- ・委託期間：令和7年8月28日から令和8年3月17日まで

イ 鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計業務公募型プロポーザル

スポーツ・コンベンションセンターにおける設計者の選定については、公募型プロポーザル方式で実施することとし、選定に当たっては、国土交通省のガイドラインに基づき、中立かつ公正な審査・評価を行う必要があることから、学識経験者等からなる「鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計業務公募型プロポーザル審査会」（設計審査会）を設置した。

選定の過程では、県民にスポーツ・コンベンションセンターへの関心を持ってもらい理解促進を図るため、公開プレゼンテーションを実施した。

審査会において、最優秀提案候補者と次点提案候補者を選定し、その結果を踏まえ、県において最優秀提案者と次点提案者を決定した。

(ア) 第1回設計審査会の開催

- ・期日：令和7年9月30日
- ・場所：県庁7階会議室
- ・内容：公募型プロポーザル説明書案及び仕様書案で構成する設計公募資料案について協議

(イ) 公告

設計業務に係る公募の公告を行うとともに、公募型プロポーザル説明書及び仕様書で構成する設計公募資料を県ホームページで公表

- ・期日：令和7年10月7日

参加表明：9者（単体企業2者、設計共同企業体7者）

(ウ) 第2回設計審査会の開催

- ・期日：令和7年12月16日
- ・場所：県庁7階会議室
- ・内容：一次提案書の審査（9者）及び一次審査通過候補者の選定
一次審査通過者：5者（設計共同企業体5者）

(エ) 公開プレゼンテーションの実施

- ・期日：令和8年2月14日
- ・場所：マリnpaレスかごしま
- ・内容：設計事業者によるプレゼンテーション及び設計審査会委員による設計事業者へのヒアリングを公開

(オ) 第3回設計審査会の開催

- ・期日：令和8年2月15日
- ・場所：マリnpaレスかごしま
- ・内容：二次提案書の審査（5者）並びに最優秀提案候補者及び次点提案候補者の選定

(カ) 最優秀提案者及び次点提案者の決定

- ・期日：令和8年2月18日
- ・最優秀提案者：梓設計・SUEP・東条設計共同企業体
- ・次点提案者：坂茂建築設計・松田平田設計・永園設計共同企業体

(キ) 審査報告書の公表

- ・期日：令和8年3月13日

(ク) 契約締結

- ・契約の相手方：梓設計・SUEP・東条設計共同企業体
- ・履行期間：令和8年3月27日から令和10年7月31日まで

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

ア 交通量調査及び将来の交通量予測

現況の交通量調査及び将来の交通量予測の結果を踏まえた上で、スポーツ・コンベンションセンターの設計業務を進めている。

イ 鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計業務公募型プロポーザル

梓設計・SUEP・東条設計共同企業体と設計業務委託契約を締結し、基本構想に沿って、スポーツ・コンベンションセンターの設計業務を進めている。

(2) スポーツ・コンベンションセンター検討事業（スポーツ・コンベンションセンター整備課）

<1> 施策の目的

スポーツ・コンベンションセンターの整備予定地において、事業者が決まるまでの間、敷地管理を行いながらイベント等の暫定活用を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 整備予定地の暫定活用

- ・整備予定地の砕石舗装の補修や植樹帯の伐採
- ・ドルフィンポート跡地におけるイベントスペースの利用実績：26件

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

整備予定地の安全の確保や景観の維持に取り組み、イベントスペースとして有効活用することで、鹿児島港本港区の賑わいの創出に繋げることができた。

11 観光の「稼ぐ力」の向上

(1) 国内外における戦略的なPRの展開

① 多彩な魅力を活用したPRの展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
中 小 企 業 振 興 費	1,680	—	—	1,680	573	—	—	573
内 薩摩大使委嘱活用事業	1,680	—	—	1,680	573	—	—	573
計	1,680	—	—	1,680	573	—	—	573

(1) 薩摩大使委嘱活用事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

本県のイメージアップに貢献できる方を薩摩大使として委嘱し、情報誌の送付等により県政全般の理解を深めてもらい、本県の観光や特産品の県外への紹介、宣伝等を行っていただく。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 薩摩大使の証、名刺、楯の作成配布

イ 情報誌等の送付（7月、8月、10月、11月、12月、2月）

ウ 年度別委嘱者数

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新規委嘱者数(人)	10	6	5
活動者数(人)	194	197	195

※ 活動者数は各年度末時点の数（死亡等による解嘱者数は差し引いている）

エ 各部局等の施策での大使の活用例

(ア) 瀧崎 龍一氏（城山ホテル鹿児島島グランシェフとの饗宴）

(イ) 上柿元 勝氏（鹿屋中央高等学校調理科での特別授業）

(ウ) 宮下 純一氏（「東京食肉市場まつり 2025」ステージイベントで鹿児島黒牛等の県産品をPR）

(エ) 大島 有志生氏（県産農産物のシンボリックな商品創出に向けたPT会議での助言、提言）

（鹿児島県大隅加工技術研究センター開所10周年記念シンポジウムにパネリスト出演）

(オ) 宮崎 緑氏（国際シンポジウム「Women's Voices in 奄美」総評コーナーに出演）

＜3＞ 施策の実施による効果(アウトカム)

薩摩大使の活用により、本県のイメージアップが図られた。

② Web等を活用したプロモーションの展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	52,383	15,798	—	36,585	51,582	15,798	—	35,784
内「南の宝箱 鹿児島」 観光デジタルプロモ ーション事業	52,383	15,798	—	36,585	51,582	15,798	—	35,784
計	52,383	15,798	—	36,585	51,582	15,798	—	35,784

(1) 「南の宝箱 鹿児島」観光デジタルプロモーション事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

旅行予約サイトに本県の特集ページを設け、観光情報の発信や宿泊施設の割引クーポンの発行を行い、本県への誘客を促進するとともに、当該サイトへ案内するためSNS等でのデジタル広告を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 旅行予約サイトを活用した誘客プロモーション

(ア) 第1弾

ターゲット：関東・関西の20～30歳代

期 間：令和7年6月30日～9月7日

クーポン利用数：1,150件（4,134人泊）

特集ページ：141,050PV

SNS広告：Instagram、Facebook（動画）

内 容	表示回数	クリック率
離島	777,751回	1.33%
アクティビティ	173,078回	1.28%
グルメ	604,983回	1.23%

(イ) 第2弾

ターゲット：関東・関西の60歳以上

期 間：令和7年9月8日～12月7日

クーポン利用数：700件（2,256人泊）

特集ページ：161,687PV

SNS広告：YouTube、LINE

【YouTube（動画）】

内 容	表示回数	クリック率
食	480,788回	0.43%
歴史	431,969回	0.42%
温泉	469,976回	0.40%

【LINE（静止画）】

表示回数：4,010,884回 クリック率：0.74%

(ウ) 第3弾

ターゲット：関東・関西の20～30歳代及び60歳以上

期 間：令和7年12月8日～令和8年3月8日

クーポン利用数：1,000件（3,111人泊）

特集ページ：172,277PV

ＳＮＳ広告：Instagram、Facebook（動画）

内 容	表示回数	クリック率
霧島	1,071,889 回	2.21%
指宿	273,491 回	2.12%

イ 観光風評被害対策動画制作

新燃岳の火山活動やトカラ列島近海を震源とする地震等を受けて、県内の観光施設は通常どおり営業していて、鹿児島観光が可能であることを伝える動画を制作し、正確な情報発信を行った。

・動画制作者（インフルエンサー）

はいちーずの鹿児島旅（フォロワー数約 10.6 万人）、ポポの休日（フォロワー数約 13.8 万人）

・撮影地域

鹿児島、南薩、北薩、姶良・伊佐、大隅、熊毛、奄美

・ＳＮＳ広告等

インフルエンサーによるＳＮＳ投稿、周遊促進キャンペーンのＳＮＳ広告に活用、観光かごしま大キャンペーン推進事業（一般事業）の風評被害等緊急対策に活用

ウ 周遊促進キャンペーン

風評被害の影響を受けている観光関連施設へも広く周遊促進を図るため、抽選で特産品等が当たるデジタルスタンプラリーを実施した。

・実施期間：令和 7 年 12 月 23 日～令和 8 年 2 月 28 日

・実施場所：県内全域（200 箇所）

・参加登録数：4,142 件（スタンプ取得数：9,904 回）

エ ＳＮＳによる情報発信

Instagram や Facebook において、風景や観光地などの鹿児島の多彩な魅力の情報発信を行った。

発 信 媒 体	フォロワー数（年度末時点）			R7 投稿数	投稿 頻度	開始 時期
	R5	R6	R7			
Instagram（アカウント名：南の宝箱 鹿児島）	19,299 人	21,757 人	27,117 人	149 回	週 3 回程度	H30.10
Facebook（アカウント名：PR 観光課）	4,225 人	4,284 人	4,404 人	156 回	週 3 回程度	H28.6

＜3＞ 施策実施による成果（アウカム）

旅行予約サイトを活用したプロモーションにおいて、従来の幅広い層への一律的な情報発信だけではなく、ターゲットを絞ったプロモーションを展開したことにより、本県観光情報を効果的に発信することができた。また、宿泊割引クーポン 2,850 枚、5,750 人泊分を配布し、9,501 人泊分の宿泊予約につながるなど、行動変容につなげることができた。

また、周遊促進キャンペーンでは、県全域を対象とした取組により、自然災害による風評被害等を受けている本県観光の回復を図るとともに、県内観光消費の拡大に寄与した。

さらに、ＳＮＳを活用した積極的な情報発信により、本県の多彩な魅力を広く発信した結果、Instagram 及び Facebook のフォロワー数は前年度と比較して増加幅が拡大し、本県観光資源の認知度向上に寄与した。

(2) 魅力ある癒やしの観光地の形成

① 観光関係施設等の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	1,735,474	76,043	1,516,215	143,216	1,060,044	70,825	936,214	53,005
内 魅力ある観光地づくり事業	1,617,215	22,000	1,468,215	127,000	952,544	22,000	893,214	37,330
内 奄美パーク改修等事業	108,086	54,043	48,000	6,043	97,650	48,825	43,000	5,825
内 住吉町15番街区利活用事業	10,173	—	—	10,173	9,850	—	—	9,850
計	1,735,474	76,043	1,516,215	143,216	1,060,044	70,825	936,214	53,005

魅力ある観光地づくり事業 翌年度への繰越額 662,595 千円

(1) 魅力ある観光地づくり事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県を訪れる観光客の満足度と回遊性を高めるため、市町村や民間と連携しながら、県内各地の魅力的な観光資源を活かした観光地づくりを推進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア にぎわい回廊整備

地域の自然・歴史・文化等の魅力的な観光資源を活かしたにぎわいや憩いの空間の創出・沿道修景等の整備を行った。

(にぎわい回廊整備状況)

地 域 名	整 備 箇 所
鹿 児 島	桜島・錦江湾ジオパーク受入環境整備（鹿児島市・姶良市・垂水市）
	長崎鼻公園交流拠点整備（いちき串木野市）
南 薩	薩南海岸トリップライン整備（南九州市・枕崎市）
北 薩	薩摩川内市東部観光拠点整備（薩摩川内市）
姶良・伊佐	八幡大地獄散策路整備（湧水町）
大 隅	錦江町周遊拠点環境整備（錦江町）
熊 毛	種子島北部観光拠点整備（西之表市）
	種子島のサンセットを望む周遊観光拠点施設等整備（中種子町・南種子町）
大 島	大和村観光拠点整備（大和村）
	奄美トレイル観光環境整備（喜界町・宇検村・伊仙町）
	徳之島交流拠点施設整備（徳之島町）
	ゼロカーボンアイランド観光拠点整備（和泊町・知名町）

イ 観光案内標識（サイン）整備

全ての観光客がストレス無く快適に観光を満喫できるよう、多言語表記の観光案内標識等の整備や既存標識の多言語化等の改修を行った。

(案内標識等設置状況)

(単位：基)

種 別	～R3	R4	R5	R6	R7	計
観光案内板	33	—	—	—	—	33
観光案内標識 (かごしまロマン街道)	1,019	4	5	5	—	1,033
計	1,052	4	5	5	—	1,066

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

ア にぎわい回廊整備

県内各地において、広域観光ルートの拠点となる「魅力ある癒やしの観光地」の形成が図られ、本県を訪れる観光客の満足度と回遊性が高まった。

イ 観光案内標識（サイン）整備

多言語表記の観光案内標識等の整備、充実により、観光客の県内観光地への適確な誘導・案内が図られた。

（2）奄美パーク改修等事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

奄美の世界自然遺産登録を踏まえ、施設の長寿命化を図るとともに、世界遺産の情報発信拠点としてふさわしい施設となるよう改修を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

施設機能の維持・充実を図るため、田中一村記念美術館の空調設備改修及び奄美の郷の建具改修を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

奄美群島の自然や生活文化を学ぶ場として、より一層の受入体制の強化及び機能充実が図られた。

（3）住吉町 15 番街区利活用事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

鹿児島港本港区エリアコンセプトプランにおいて、住吉町 15 番街区エリアの利活用方針として示されている「コンベンション機能等を核とした交流・観光拠点エリア」の形成を図るため、民間事業者によるMICE・バンケット・ホテル等としての利活用を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

住吉町 15 番街区について、MICE・バンケット・ホテル等としての利活用に向けて、事業者の公募を行い、住吉町 15 番街区利活用事業提案評価委員会により選定された最優秀提案者を事業予定者として決定した。また、定期借地権設定契約締結までの手続などを定めた基本協定を事業予定者と締結した。

ア 公募要領の公表及び事業者公募の開始

期 日：令和 7 年 3 月 28 日

方 法：県ホームページへの掲載

イ 公募要領等に関する説明会の開催

期 日：令和 7 年 4 月 11 日

場 所：県社会福祉センター大会議室

内 容：公募要領等に関する説明

参加事業者数：6 事業者（うち県内 4、県外 2）

ウ 第 1 回対話の実施

民間事業者の方々に公募要領の内容を十分理解いただき、より良い提案をしていただくことを目的として実施

期 日：令和 7 年 5 月 16 日

場 所：県庁内会議室

内 容：参加者から提出があった議題等について、意見交換を実施

参加事業者数：2 事業者（うち県内 1、県外 1）

エ 事業応募

応募締切期日：令和 7 年 8 月 8 日

応募者数：1 事業者

オ 公開プレゼンテーションの開催

期 日：令和 7 年 8 月 24 日

場 所：ホテルウェルビューかごしま

内 容：提案内容の説明及び評価委員との質疑応答

事業者数：1 事業者

傍聴者数：70 名

インターネット配信：令和 7 年 8 月 25 日～9 月 3 日（再生回数 428 回）

アンケート：令和 7 年 8 月 24 日～27 日（回答者数 80 人）

カ 非公開ヒアリングの開催

期 日：令和 7 年 8 月 31 日

場 所：県庁内会議室

内 容：提案内容の説明、評価委員との質疑応答、評価

事業者数：1 事業者

キ 最優秀提案者の選定

選定日：令和 7 年 9 月 3 日

最優秀提案者：鹿児島国際観光株式会社

ク 事業予定者の決定

決定日：令和 7 年 10 月 8 日

事業予定者：鹿児島国際観光株式会社

ケ 基本協定の締結

締結日：令和 7 年 11 月 28 日

協定内容：基本計画協定の締結期限 令和 9 年 12 月末日

定期借地権設定契約の予約契約の締結期限 令和 9 年 12 月末日

定期借地権の期間 令和 11 年 8 月 1 日から令和 66 年 7 月 31 日まで

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

事業予定者の決定及び基本協定締結により、住吉町 15 番街区エリアの利活用に向けて進展した。

(3) 戦略的な誘客の展開

① 観光客の来訪の促進等

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
企 画 総 務 費	16,420	—	1,600	14,820	15,713	—	1,600	14,113
内 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業	11,663	—	—	11,663	10,974	—	—	10,974
世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録10周年記念事業	4,757	—	1,600	3,157	4,739	—	1,600	3,139
観 光 費	1,928,726	1,778,400	3,469	146,857	899,954	751,786	4,274	143,894
内 観光振興対策事業 (観光かごしま宿泊者効果測定調査事業)	25,440	6,284	—	19,156	24,961	6,216	—	18,745
観光かごしま大キャンペーン推進事業	70,000	—	2,369	67,631	70,000	—	2,574	67,426
フィルムコミッション活動支援事業	8,739	—	500	8,239	8,739	—	700	8,039
修学旅行等対策事業	12,222	4,000	—	8,222	12,207	3,993	—	8,214
かごしま「推し旅」誘客促進事業	9,351	2,026	—	7,325	9,350	2,026	—	7,324
南九州観光振興事業	2,000	—	—	2,000	2,000	—	—	2,000
「稼げる」観光地域づくり推進事業	27,412	7,690	600	19,122	27,006	7,690	1,000	18,316
サイクルツーリズム推進事業	13,029	—	—	13,029	11,697	—	—	11,697
磯新駅設置支援事業	300	—	—	300	300	—	—	300
観光需要回復緊急特別対策事業	1,758,400	1,758,400	—	—	731,861	731,861	—	—
鹿児島県観光サイト改修事業	1,833	—	—	1,833	1,833	—	—	1,833
計	1,945,146	1,778,400	5,069	161,677	915,667	751,786	5,874	158,007

観光需要回復緊急特別対策事業 翌年度への繰越額 937,700 千円

【参考】①目標値

区 分	基準年 (R1 年)	目 標 (R11 年)	現 状 (R7 年)
項 目			
(1) 宿泊者数を増やす ^(注1)			
① 延べ宿泊者数	約 8,366 千人泊	9,950 千人泊	約 8,452 千人泊
② ①のうち、 外国人延べ宿泊者数	約 840 千人泊	1,550 千人泊	約 709 千人泊
(2) 観光客の満足度を高め、リピーターを増やす			
	(R1 年度)	(R11 年度)	(R7 年度)
観光客の満足度	約 78%	100%	約 93%

②本県観光客の推移

(単位：人泊)

	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年	R7 年
延べ宿泊者数	4,925,760	6,089,460	8,152,790	8,378,560	8,452,460

※出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

※対象施設：全てのホテル・旅館・簡易宿泊所

(注1)観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数(暦年)の集計結果を目標の指標として設定

(1) 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(文化振興課 世界文化遺産室) (地方創生関連事業)

＜1＞ 施策の目的

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の管理保全や、次世代への継承に向けた普及啓発、世界遺産としての価値の理解増進・情報発信に取り組む。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 県の取組

(ア) 管理保全

a 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンポジウムの開催

世界遺産の価値や遺産の保全に対する理解を求めることを目的として開催していたシンポジウムについて、登録10周年記念事業として実施

b 構成資産の管理保全に係る各種会議(保全委員会、集成館地区管理保全協議会等)への参加

(イ) 普及啓発

「明治日本の産業革命遺産」及び県内の構成資産について、世界文化遺産としての価値について理解を深めてもらい、次世代へ継承していくという県民意識の醸成を図るため、県内全域を対象とした普及啓発に取り組んだ。

a 教育連携

(a) 副読本「かごしまタイムトラベル」の改訂増刷・配布

増刷部数	配布先	活用等	規格等
12,500部	県内の小学5年生、 市町村教育委員会	・学校現場での活用 ・教職員研修での活用	A4・24頁

b 県内波及への取組等

事業名	事業内容	場所等	参加者
かごしま産業遺産の道事業	集成館事業に関連する県内の産業遺産を紹介する「かごしま産業遺産の道」ホームページの県観光サイトにおける運用	鹿児島県観光サイト 「かごしまの旅」に公開	—
近代化産業遺産普及・啓発事業	1 児童向けの出前講座 (1) 日 程 令和7年6月6日、6月18日 (2) 内 容 「かごしまタイムトラベル」等を活用した「明治日本の産業革命遺産」の概要説明	阿久根市立脇本小学校 いちき串木野市立串木野小学校	35人 83人
	2 一般県民向けの講演会・まち歩き (1) 講演会 (かごしまヘリテージフェス内の記念トーク) ① 日 程 令和7年11月29日 ② 内 容 学ぶ、活かす、つなぐ「明治日本の産業革命遺産」	よかど鹿児島1階イベントスペース	63人
	(2) まち歩き ① 日 程 令和7年7月21日 ② 内 容 産業遺産のストーリーに触れるバスツアー	天保山台場跡、祇園之洲砲台跡 ほか	27人

(ウ) 理解増進・情報発信

「明治日本の産業革命遺産」の県内の構成資産について、県内外での認知度向上及び理解増進を図った。

a 観光素材相談会(東京、大阪)、教育旅行説明会(東京)への参加及び「鹿児島のタベ」でのブース出展

b 県内構成資産プロモーションの実施

本遺産に関するトピックス等を紹介した特集ページ「かごしまの『明治日本の産業革命遺産』にふれる旅」をリニューアルした。（短編動画の製作・公開、WEB広告の実施、モデルコースの追加）

また、県内構成資産について鹿児島中央駅通路での広報（コルトンサイン）掲示を行った。

c 県内構成資産紹介パンフレットの増刷

名称	作成部数	規格等
明治日本の産業革命遺産「産業国家」日本の原点 鹿児島	5,000 部	A4・16 頁

d 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」認定・登録

育成研修名：鹿児島大学大学院「総合講義（鹿児島県における世界文化遺産）」

研修実施日：令和8年1月24日、25日、31日

研修修了者：14 人

認定・登録者：64 人（累計、令和8年3月31日現在）

e 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」フォローアップ研修の実施

研修実施日：令和8年2月14日、28日、3月7日

研修内容：ガイド案内の基本事項に係る座学、関吉の疎水溝・旧集成館反射炉跡等でのガイド実習

参加者：当該案内士など18 人

イ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組

(7) 世界遺産委員会決議への対応

令和5年9月に開催された第45回世界遺産委員会において、令和4年11月30日に提出した保全状況報告書が審議され、世界遺産センター及び諮問機関によるレビューのために、最新の情報を提出することが国に要請された。これを受け、国は、令和6年11月29日付けでインタープリテーション及び対話に関する報告書をユネスコへ提出した。

(4) インタープリテーション（理解増進・情報発信）の推進

項目	取組内容
8 県 11 市 23 資産の理解増進及び情報発信	① パンフレットの増刷 ② ホームページ更新 ※その他については、登録10周年記念事業で実施

(7) 人材育成

項目	取組内容
ガイドの人材育成	① ガイド研修会の開催 日 程：令和7年10月22、23 日 場 所：釜石市 対象者：各構成資産地域のガイド、自治体職員等 66 人 内 容：地域のガイド活動事例など
自治体職員の人材育成	② 管理保全研修会の開催 日 程：a 令和7年5月22日（現地（伊豆の国市）とオンライン併用） b 令和8年1月16日（現地（福岡市）とオンライン） 対象者：自治体職員（a 35 人、b 37 人） 内 容：世界遺産の価値、管理保全の体制・手法、世界遺産委員会決議の概要とその対応状況など

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

小学生向け副読本や県内構成資産プロモーションの実施により、本遺産を次の世代に引き継ぐという県民意識の醸成が図られた。

また、世界遺産委員会決議への対応や人材育成の取組などにより構成資産の管理保全を図るとともに、Webサイトのリニューアルや運用・管理などにより本遺産に対する理解増進等が図られた。

(2) 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録10周年記念事業（文化振興課 世界文化遺産室）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

登録10年の節目の年に、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の価値・意義を改めて見つめ直し、次世代への継承を図るため、本遺産の効果的な普及啓発や情報発信に取り組む。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 県の取組

(ア) 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録10周年記念シンポジウムの開催

日程：令和7年7月12日

場所：鹿児島県歴史・美術センター黎明館2階講堂

講師：a 第1部記念トーク

佐藤青南氏（小説家）

東川隆太郎氏（NPO法人かごしま探検の会代表理事）

b 第2部シンポジウム

【基調講演講師】 原口泉氏（志学館大学教授）

島津公保氏（（一財）産業遺産国民会議理事）

【パネリスト】 原口泉氏、島津公保氏

深港恭子氏（鹿児島県歴史・美術センター黎明館主任学芸専門員）

【コーディネーター】 東川隆太郎氏

内容：記念トーク、基調講演、パネルディスカッション

聴講者数：584名（インターネット同時配信を含む）

その他：当日の様子は、県ホームページ等において配信

視聴回数：515回（令和8年5月20日時点）

(イ) 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録10周年記念パネル展の開催

日程：令和7年11月29日～12月19日

場所：よかど鹿児島（鹿児島銀行本社ビル）

内容：登録10周年や県内構成資産等を紹介したパネルの展示、登録10周年記念作文コンクールの受賞作品

展示、大型モニターでの本遺産のPR動画の放映、パンフレット等の設置

その他：本パネル展の周知を図るため初日にオープニングイベント「かごしまヘリテージフェス」を開催

（延べ参加者241人）

(ウ) 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録10周年記念作文コンクール

募集期間：令和7年7月1日～9月30日

対象：県内の小学生

応募状況：

()は実学校数

部 門	応 募 状 況	
	延べ学校数(校)	作品数(作品)
1～3年生部門	16	26
4年生部門	9	17
5・6年生部門	21	101
合 計	46(32)	144

受賞状況：最優秀賞 1 作品、優秀賞 3 作品、特選 4 作品、入選 9 作品

＊登録 10 周年記念パネル展オープニングイベント「かごしまヘリテージフェス」において表彰式を開催

(エ) 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録 10 周年記念 Instagram 投稿キャンペーン

募集期間：令和 7 年 7 月 1 日～10 月 13 日

- 内容：a キャンペーン実施期間中に「鹿児島県世界文化遺産室」公式アカウント（以下、公式アカウント）をフォローし、「#(ハッシュタグ)かごしまレガシー」をつけて、県内構成資産の写真や動画を投稿
- b キャンペーン実施期間中は、公式アカウントでの投稿や県HPへの記事掲載など、定期的に告知を行い、あわせて Instagram 内での広告（動画配信）を実施
- c 投稿者の中から抽選（30 名）で、景品をプレゼント

実績：フォロワー数 735 人（キャンペーン開始前 197 人（538 人増））、投稿数 137 件

(オ) その他の取組

a 鹿児島中央駅地下通路コルトンサインのポスター提示

時期：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

内容：県管理 4 基のうちの 1 基で世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録 10 周年をPR

b 南九州ファミリーマート店頭スタンド灰皿でのPRポップ掲出

時期：令和 7 年 4 月 14 日より約 1 年間

場所：県内ファミリーマート 約 250 店舗

その他：令和 7 年 6 月 27 日（金）、ポップ設置式を開催

c 西日本宝くじ証票図柄によるPR

発売期間：令和 7 年 5 月 28 日～6 月 17 日

内容：県内構成資産をデザインした図柄の宝くじを制作し、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録 10 周年をPR

発売先：九州、中国、四国地方

発売額：総額 3 億円

d 大阪・関西万博九州合同出展県ブースでのPR

内容：「明治日本の産業革命遺産」登録 10 周年の特別賞として食品、工芸・生活用品部門それぞれ 1 点ずつ表彰

入賞作品：食品部門：紫の炎—ROMAN—10（山元酒造）

工芸生活用品部門：薩摩切子の「MARUKO」（嵯美の匠ガラス工房弟子丸）

e 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録 10 周年記念パネル展

場所：①県庁行政庁舎 1 階アトリウム（令和 7 年 6 月 5 日～7 月 22 日）

②県立図書館 1 階正面ロビー（令和 7 年 7 月 9 日～7 月 15 日）

イ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組

(ア) 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録 10 周年記念シンポジウムの開催

日程：令和 7 年 7 月 6 日

場所：東京国際フォーラム ホール B5

テーマ：「明治日本の産業革命遺産 その価値と次世代への継承～世界遺産登録 10 周年を迎えて～」

講師

【基調講演講師】

ニール・コソン 卿（イングリッシュ・ヘリテージ元総裁）

加藤康子 氏（産業遺産情報センター長）

【パネリスト】

加藤康子 氏

バリー・ギャンブル 氏（稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議オブザーバー）

後藤治 氏（工学院大学総合研究所教授、稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議委員）

島津公保 氏（一般財団法人産業遺産国民会議理事）

【コーディネーター】

今村敬 氏（内閣官房副長官補付内閣審議官）

内容：基調講演及びパネルディスカッション

聴講者数：838 名（インターネット同時配信を含む）

その他：当日の様子は、県ホームページ等において配信（視聴回数：834 回（令和 8 年 4 月 30 日時点）

(イ) 登録 10 周年記念特設 WEB サイトの運用・管理

期間：令和 6 年 10 月 31 日（木）～運用中

内容：協議会及び構成自治体を実施するイベントやプロモーション活動について統一的な情報発信を行うサイトを開設・運用

閲覧数：139,182 回（令和 8 年 3 月 31 日時点）

(ウ) 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」カードラリー

期間：令和 7 年 7 月 1 日～9 月 30 日

場所：各構成自治体（8 県 11 市）

内容：本遺産の関連施設等を訪れることにより各構成資産やゆかりの人物などを解説したカードを取得

カードの取得状況に応じて、レアカード等やカードホルダーをプレゼント

配布枚数：カード：38,209 枚、カードホルダー：50 個

実績：PR サイトの累計アクセス数：20,835 回（訪問者数の累計：8,679 名）

公式 LINE 登録者数：1,501 名

その他：カードラリーの情報発信や問い合わせ対応等のため、令和 7 年 6 月 1 日～10 月 31 日の期間公式 LINE を開設・運用

(エ) ミステリー小説を活用した SNS での情報発信

投稿期間：令和 7 年 8 月 28 日～10 月 6 日

内容：SNS において一定の影響を持つインフルエンサー 2 名を起用し、Instagram での情報発信（ミステリー小説の舞台や周辺の観光スポットなどを来訪する様子を全 12 作品の動画で投稿）、10 周年特設 WEB サイトへの情報掲載、ミステリー小説掲載サイト（note）等への誘導

実績：世界遺産協議会公式 note への累計アクセス数：108,686 回（令和 8 年 3 月 31 日時点）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

登録 10 周年の節目の年に、記念シンポジウムやパネル展、各種 PR 活動、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会との連携により、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の価値・意義を改めて見つめ直す機会を提供することができた。

また、作文コンクールや Instagram 投稿キャンペーンなどにより、児童・生徒及び若年層の理解増進につなげることができた。

(3) 観光振興対策事業（観光かごしま宿泊者効果測定調査事業）（PR 観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

多様化している宿泊者のニーズや動向を把握し、収集したデータに基づき効果検証を行い、誘客のターゲット設定や PR 手法など、効果的なプロモーションの改善につなげる。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

県内の宿泊施設において二次元コードによる宿泊者を対象としたアンケート調査を実施した。

ア 調査時期：令和 7 年 9 月 15 日～令和 8 年 3 月 14 日

イ 対 象：県内の宿泊施設に宿泊する 18 歳以上の方

ウ 回 収 数：6,254 件

＜3＞ 施策の実施による効果（アウトカム）

調査を実施した結果、宿泊者のニーズや動向を地域別に把握することができた。

(4) 観光かごしま大キャンペーン推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

新しい観光かごしまの魅力を全国的にPRするため、県、県観光連盟、市町村、観光関係団体、業界等が一体となって、積極的な観光広報宣伝を展開することによって、一層の観光客誘致を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

官民一体となり、観光関連産業の「稼ぐ力」の向上を図るため、近年の旅行ニーズに対応した鹿児島県ならではの観光コンテンツの充実や、「南の宝箱 鹿児島」をテーマとした本県の魅力を発信する各種プロモーション等に取り組むとともに、大阪・関西万博に出展し、本県の2つの世界自然遺産をはじめとする豊かな自然のほか、様々な歴史や文化、伝統的工芸品など、本県の数多くの宝物の魅力を発信し、本県への誘致促進を図る、観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

【一般事業】

ア 「南の宝箱 鹿児島」の効果的な情報発信の展開

(ア) 鹿児島の「宝」プロモーション事業【旅マエの取組】

a メディア等広告媒体を活用した効果的な情報発信

(a) PR動画を活用したSNS広告配信の実施

SNSを活用して、鹿児島の魅力を伝える動画による広告を配信することにより、本県の認知度向上及び誘客促進を図ることを目指した。

配信時期：令和7年10月3日～12月26日

媒体：YouTube、Instagram、TikTok

媒体	表示回数	クリック数	クリック率
YouTube	635,187回	317回	0.05%
Instagram	794,545回	5,100回	0.64%
TikTok	600,478回	1,461回	0.24%

(b) オンラインメディア「Premium Japan」掲載

掲載日：令和7年10月（記事3本）

テーマ	ページビュー数	読了率	平均滞在時間
日本初の世界自然遺産 屋久島	7,873回	45%	0.48分
復元40周年を迎える薩摩切子	6,047回	40%	0.38分
鹿児島産ハーブから作られる自然派コスメ	6,939回	50%	0.42分

(c) 昭文社「ことりつぶ奄美群島」作成タイアップ事業の実施

発行日：令和8年2月19日

発行部数：14,000部

(d) 角川アスキー総合研究所「九州 LOVE Walker」2025年秋号への広告記事の提供

発行日：令和7年9月26日

発行部数：50,000部

b 観光展出展事業

(a) ツーリズムEXPOジャパン2025

世界最大級の総合観光イベントに出展し、鹿児島県の魅力を発信した。

開催日：令和7年9月25日～28日

場所：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

来場者数：127,677人

- (b) その他観光展
実 績：2 件
- c 体験商品予約販売サイト「VISIT 鹿児島県」の運用及び認知度向上
- (a) VISIT 鹿児島県の運用
取 扱 人 数：892 人
取 扱 金 額：3,268,590 円
新規掲載商品：24 商品
- (b) 体験プラン新規開拓及び認知度向上促進
- ・体験型旅行商品造成等に関するセミナー開催
日 時：令和 7 年 9 月 17 日
参加者：45 名（会場 11 名、オンライン 34 名）
 - ・「南の宝箱 鹿児島 体験キャンペーン」の実施
期 間：令和 7 年 12 月 1 日～令和 8 年 3 月 1 日
対象商品：約 90 商品
販売実績：737 人
- (イ) ニーズに対応した観光情報発信事業【旅ナカの取組】
- a 県公式観光サイトを活用した情報発信
- ・グーグル・アナリティクスを活用したユーザー属性や流入経路、人気コンテンツなどのデータ分析による効果的な記事作成
 - ・イベント情報、新規情報及びスポットの掲載
 - ・市町村への情報や画像の提供依頼
- b 観光パンフレットを活用した情報発信
- ・拠点発周遊観光マップ「かごしまップ（霧島コース）」デジタルパンフレット作成及び改訂増刷 10,000 部
- (ウ) 地域の特性と魅力を活かした連携事業【素材の磨き上げ】
- a 広域観光促進のための連携事業
- モニターツアーの実施
実 施 日：令和 8 年 3 月 6 日
参加人数：8 名
方 面：枕崎市、南さつま市
- b 持続可能な観光への取組支援事業
- (a) 鹿児島市グリーン・ツーリズム推進協議会への参加
開催日：令和 7 年 10 月 8 日
- (b) 国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会への参加
開催日：令和 7 年 7 月 15 日、令和 7 年 9 月 24 日
- イ 効果的な誘客促進への取組
- (ア) 旅行エージェント・キャリア等と連携した誘客促進
- a 旅行商品造成支援事業の実施
- 受注型企画旅行等団体旅行誘致支援事業（貸切バス）
県内のホテル、旅館等に 2 泊以上の宿泊を伴う受注型企画旅行及び手配旅行に対し貸切バスの経費の助成を実施した。
助 成 額：2 泊の場合 1 台 4 万円、3 泊以上 1 台 6 万円（上限 4 台分）
対象期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 1 日（除外：4 月 26 日～5 月 6 日、12 月 27 日～1 月 4 日）
実 績：22 件 26 台
- b 旅行エージェント等現地視察研修等への支援
対象期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 2 月 28 日

実績：1件 13名

c 旅行エージェント・キャリアと連携したキャンペーンの実施

旅行会社や交通事業者と連携して、本県への誘客プロモーションやキャンペーンを実施した。

(a) 旅行会社タイアップ事業（5社）

(b) キャリアタイアップ事業（4社）

(i) 観光関係団体等と連携した誘客促進

県外事務所や、教育旅行受入対策協議会等の各種観光関係団体と連携し、首都圏等において新たな観光素材やタイムリーな情報の提供などを行った。

(u) 風評被害等緊急対策

新燃岳の噴火やトカラ列島近海を震源とする地震の影響等など、自然災害等による風評被害対策として SNS による正確な情報発信を行った。

配信期間：令和7年9月30日～12月31日

配信内容：Instagram 動画広告、YouTube 動画広告 各10本

表示回数：Instagram 広告 2,992,222 回、YouTube 広告 4,509,817 回

【重点戦略事業】

ア 大阪・関西万博における九州7県合同出展

(ア) 九州7県合同催事

大阪・関西万博において、2つの世界自然遺産や世界文化遺産、伝統的工芸品や鹿児島県の食文化など、「南の宝箱 鹿児島」の魅力を発信し、本県への誘客促進を図った。

期 間：令和7年9月3日～5日

場 所：大阪・関西万博会場内 EXPOメッセ「WASSE」

出展内容：①九州7県合同

「観光」PRブース、「食」PRブース、イベントスペース、ブース周遊企画

②鹿児島県ブース

世界自然遺産、世界文化遺産、伝統的工芸品、鹿児島の食文化、観光・PR

来場者数：①47,149人 ②約31,100人（推定値）

(イ) 観光PRツール製作

鹿児島県ブースにおいて、来場者に対して鹿児島県や各市町村の観光サイト等を案内することで、本県の観光PR及び誘客促進につなげるため、観光PRツールの製作を行った。

仕 様：サイズ 5.5×9.1cm

（内容）表面：各市町村の観光スポット等の写真

裏面：県観光サイト及び各市町村の観光サイト、JFM「鹿児島県」サイトへのQRコード等を掲載

部 数：86,000枚（2,000枚×43市町村）

配布数：約24,500枚

(ウ) 魅力発信スペースでのPR

万博会場内メディアセンター「魅力発信スペース」において、国内外メディア関係者に向けて、九州7県合同催事の案内、本県の観光PRを行った。

期 間：令和7年9月1日～3日

場 所：大阪・関西万博会場内メディアセンター

出展内容：PRパネル等展示、食品サンプリング

(エ) 商船三井さんふらわあと連携したキャンペーン

大阪・関西万博期間中に会場周辺の駅に滞在した人をターゲットにSNS広告を配信し、本県及び志布志・大阪航路の認知度向上、本県への誘客を図った。

a 15 秒動画の作成

b 15 秒動画を活用したジオターゲティング広告の実施

実施期間：令和 7 年 5 月 17 日～10 月 13 日

ターゲット：配信月の過去 1 か月前に万博会場周辺の駅（弁天町駅、大阪港駅、桜島駅、新大阪駅、夢洲駅）を訪れたことがある関西在住者

配信媒体：YouTube、Instagram

実績：表示回数 2,083,711 回、クリック数 16,477 回

イ 誘客促進活動

(ア) 九州観光機構と連携した誘客促進活動

a 観光素材集の作成

b 九州観光コンテンツ商談会への参加（商談件数：82 件）

(イ) 県内外イベントにおける P R 活動

本県への誘客が期待できるイベント等へ出展し、観光情報の発信を行った。

イベント	期間	場所
F D A 鹿児島空港乗り継ぎキャンペーンメディアキャラバン	令和 7 年 9 月 5 日	静岡第一テレビほか 5 社
F D A 鹿児島空港乗り継ぎキャンペーン P R イベント	令和 7 年 9 月 6 日～7 日	新静岡セノバ 1 階フォレストテラス
関西かごしまファンデー	令和 7 年 9 月 21 日	神戸国際展示場 1・2 号館
ツーリズム E X P O ジャパン	令和 7 年 9 月 25 日～28 日	Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
大関ヶ原祭 2025	令和 7 年 10 月 11 日～12 日	岐阜関ヶ原古戦場記念館北駐車場
ねんりんピック岐阜 2025	令和 7 年 10 月 18 日～19 日	岐阜メモリアルセンター
東京食肉市場まつり 2025	令和 7 年 10 月 18 日～19 日	東京都中央卸市場食肉市場
かごしまのタベ	令和 8 年 1 月 29 日	セルリアンタワー東急ホテル

(ウ) 県外事務所のネットワークを活用した情報発信

県東京事務所・大阪事務所・福岡事務所において、観光物産展での観光 P R や、地元メディアによる P R など、現地ならではのネットワークを活用した情報発信を実施した。

(エ) その他の誘客促進活動等

NEXCO 西日本「ぎゅぎゅっと九州まんきつドライブパス 2025」への特典提供

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

令和 7 年年間値（R7.1 月～R7.12 月 観光庁「宿泊旅行統計調査」）

延べ宿泊者数（人泊）

区分	人泊	対前年比
鹿児島県	8,452,460	100.9%
うち日本人延べ宿泊者数	7,743,500	99.8%

近年の旅行ニーズの多様化に対応した観光コンテンツの充実や情報発信等の各種事業を展開するとともに、旅行エージェントや交通キャリア等とタイアップした誘客キャンペーンを実施し、本県への誘客拡大に取り組んだ結果、新燃岳の噴火やトカラ列島近海を震源とする地震、大雨による災害の影響があったものの、令和 7 年の鹿児島県延べ宿泊者数は 8,452,460 人泊となり、前年比 100.9%と前年を上回った。

大阪・関西万博においては、本県 P R ブース等を活用して本県観光資源の魅力発信を行い、3 日間で約 3 万人の国内外からの来場者に対して本県の認知度向上、旅行需要の喚起を図ることができた。

(5) フィルムコミッション活動支援事業（P R 観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

本県における映像制作の支援環境を整え、本県の魅力を情報発信する機会を増やすことにより、本県の更なる観光振興を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

支援実績

（単位：件）

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 年度の主なもの
映画	7	9	6	天文館探偵物語、燃え上がる島
CM	11	7	5	通販会社、自動車メーカー
TV番組	14	13	5	遠くへ行きたいジローラモ編
TVドラマ	—	1	—	
その他	8	5	7	JAL半島キャンペーン
計	40	35	23	

※上記表については、制作支援を行った総数であり、実際に本県で撮影等が行われた総数ではない。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

制作支援を行うことで、テレビ等による本県の魅力を情報発信する機会を創出し、本県の更なる観光振興につなげることができた。

（6）修学旅行等対策事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

鹿児島県教育旅行受入対策協議会において、多様化する修学旅行の動向を踏まえながら、受入体制の整備を行うとともに、積極的な修学旅行誘致事業を実施する。加えて、本県への教育旅行受入の維持・拡大を図るため、鹿児島でしか体験できないプログラムの造成等を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 修学旅行等対策事業

（ア）教育旅行誘致セールス事業

a 九州観光機構連携誘致事業

【素材説明会・相談会】

会 場	開催日	来場者
名古屋	令和7年8月5日	83名
大阪	令和7年8月6日	110名
東京	令和7年8月19日	114名
岡山	令和7年8月26日	50名

b 南九州三県共同事業

（a）南九州教育旅行誘致受入対策会議

開催日：令和7年7月17日

出席者：50名（九州観光機構、同会員旅行会社、熊本県、宮崎県、鹿児島県）

（b）南九州三県教育旅行招請事業

【現地研修会】

日程：令和7年9月13日～15日

参加者：16名（ゲスト10名、三県担当者6名）

訪問先：（鹿児島県）知覧特攻平和会館、維新ふるさと館、仙巖園・尚古集成館

（熊本県）阿蘇火山博物館、熊本震災ミュージアム KIOKU

（宮崎県）高千穂神社、延岡ツーリズム

c 本県単独事業

（a）旅行会社へのヒアリング

大阪（6社）：令和7年7月9日～10日

東京（3社）：令和8年2月26日

(b) 修学旅行誘致セールス

対 象：①広島県内の学校及び旅行会社

②大阪府の府立高等学校及び旅行会社

実施日：①令和7年7月30日～8月1日

②令和7年12月9日～10日

(イ) 広報宣伝事業

a 教育旅行ガイドブック更新

教育旅行ガイドブック（WEB用）の時点修正

実施時期：令和8年2月

b 教育旅行関連情報誌等への広告掲載

掲載媒体：日本教育新聞

掲 載 号：令和7年6月16日号

(ウ) 受入対策事業

a 受入体制整備推進事業

教育旅行体験民泊の入込数増加に係る支援

実績：4件（出水市観光特産品協会、おおすみ観光未来会議、アイロード・プラス、プロジェクトたるみず）

b メッセージ事業

令和7年度に修学旅行で鹿児島県を訪れた県内外の学校へのお礼状送付

実績：351件（令和8年3月3日発送）

c その他受入事業

(エ) 調査事業

鹿児島県修学旅行等入込状況調査

調査対象期間：令和7年1月～12月

イ 鹿児島県教育旅行誘致促進事業

(ア) 県内学校教員の離島招請事業

県内学校の教育旅行責任者等に、県内離島の教育旅行メニュー（学習素材）を直接体験して魅力を感じてもらうことで、県内学校による県内離島への教育旅行の誘致促進を行った。

日 程：①屋久島 令和7年8月21日～22日

②奄美大島 令和7年11月17日～18日

③屋久島 令和7年11月27日～28日

対 象：県内学校の教育旅行責任者、担当者

招請者数：①4名（中学校1、特別支援学校1、私立学校2）

②12名（小学校4、中学校2、高校6）

③5名（小学校2、中学校2、高校1）

内 容：①、③屋久島文化村センター、安房川（カヤック体験）、白谷雲水峡（トレッキング）、屋久杉自然館（クラフト体験）など

②大島紬村（大島紬泥染め体験）、黒潮の森マングローブパーク（カヌー体験）、奄美大島世界遺産センター、アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru など

(イ) 体験プログラム造成事業

SDGs 学習や探究学習をキーワードとした体験型プログラムのニーズが高まっていることから、鹿児島県の地域資源を活用し、学校のニーズにより対応した魅力あるプログラムの造成・磨き上げを行った。

a 教育旅行受入施設・団体の意識醸成のための勉強会

開催日：令和7年10月24日

対 象：自治体、観光関連事業者

参加者：32名（会場10名、オンライン22名）

b プログラム造成・磨き上げ

テーマ	内 容
宇宙	種子島宇宙センターでの火薬ロケット打ち上げ体験
平和学習（知覧）	地元の大学生等との対話型交流
環境・SDGs	山川漁港におけるスタンドアップパドル（SUP）上からのアマモの種苗の植え付け体験
お茶	お茶畑見学・講話、お茶のブレンド体験、茶畑でのお茶を使った食事
焼酎文化	焼酎蔵見学、マーケティング手法の研究
平和学習（鹿屋）	戦争の歴史・特別攻撃隊について学ぶ学習教材の導入

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

誘致セールスや情報発信を通じて、本県の教育旅行に関する認知度向上と誘致機会の拡大を図った。

また、県内学校の離島への教育旅行の誘致促進に取り組むとともに、本県の地域資源を生かした体験プログラムの造成等により、教育旅行における学習プログラムの充実を図り、受入体制の強化につなげた。

（7）かごしま「推し旅」誘客促進事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県には、本県を舞台にした作品や本県にゆかりのある人物など、「推し」となりうる観光素材コンテンツが存在することから、これらコンテンツの掘り起こし、情報発信を行うことで、各種の「推し活」を目的とした旅行を促し、県外からの誘客や県民のマイクロツーリズムの促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

鹿児島県にゆかりのあるアニメ・映画・芸能・歴史上の偉人・世界遺産等に関する様々な情報を発信することで「推し旅」を促し、県外からの誘客や県民のマイクロツーリズムの促進を図った。

ア 映画作品とのタイアップ施策

（ア） 特設サイト「推しと私と鹿児島と」での情報発信

令和6年度制作の推しの旅MAP内に映画「天文館探偵物語」の推しスポットをまとめた特設ページを作成。9箇所を新たに推しスポットとして紹介した。

（イ） シネアドを活用した情報発信

- ・ 広 告 媒 体：TOHOシネマズシネアド上映（15秒）
- ・ 広告テーマ：鹿児島推しの旅MAP 天文館探偵物語PR篇
- ・ 上 映 期 間：令和7年12月5日～11日（7日間）
- ・ 上 映 場 所：①TOHOシネマズ新宿
②TOHOシネマズなんば
③TOHOシネマズららぽーと福岡
- ・ 上 映 回 数：①21回（期間中動員／2,400名）
②14回（期間中動員／700名）
③15回（期間中動員／400名）

イ SNSを活用した県民向けハッシュタグキャンペーン

県民のマイクロツーリズムの促進を図るため、SNSを活用したハッシュタグキャンペーンを実施。

募集期間：令和8年1月29日～3月9日

募集媒体：Instagram

応募件数：264件

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

本県における「推し」となりうる観光素材コンテンツの掘り起こし及び情報発信によって、新たな旅行ニーズのひとつである「聖地巡礼」を促すツールの作成及び県外からの誘客、県内のマイクロツーリズムを促進することができた。

(8) 南九州観光振興事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

南九州3県（鹿児島県・熊本県・宮崎県）が連携し、南九州観光情報発信や、修学旅行の誘致活動を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国内対策事業

南九州地区周遊謎解きラリー事業

南九州3県の自然や文化、西南戦争などテーマ毎の謎を解きながら観光地等を周遊する謎解きラリーを実施。

- ・実施期間：令和7年12月26日～令和8年3月22日
- ・スポット数：48スポット（16スポット×3県）
- ・サイトアクセス数：8,650件
- ・プレゼント応募数：395件

イ 海外対策事業

オーストラリアの有力メディア担当者を南九州3県に招請するFAMトリップを実施し、南九州3県の周遊体験を取材・記事化することで、ターゲット層に向けて効果的に訴求をした。

- ・実施時期：令和8年1月27日～1月30日 各県1泊
- ・参加者：オーストラリアメディア担当者 1人
- ・特集記事公開日：令和8年3月9日
- ・Facebook投稿日：令和8年2月19日、2月26日、3月9日、12日
- ・メルマガ配信日：令和8年3月10日～12日、14日、17日、19日

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

ア 国内対策事業

観光地等を周遊する謎解きラリーを実施し、3県48か所の観光地等を巡る広域的な周遊を促進することで、南九州における観光周遊の拡大及び地域間連携の推進に寄与した。

イ 海外対策事業

オーストラリアメディアへの記事掲載（3本）、Facebook投稿（4本）を実現し、記事の総PV数は3,928PV、Facebookの総表示回数は133,649回を達成した。

メールマガジンについては、通常メルマガの開封率は37～41%、独占メルマガの開封率は26～28%と高水準を記録し、認知度向上及び誘客促進が図られた。

(9) 「稼げる」観光地域づくり推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

地域の多様な関係者が連携した観光地域づくりの推進体制を確立し、各エリアの観光戦略に基づく観光地経営による「稼げる」観光地域づくりを推進するため、「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成、新たなマーケティングやコンテンツの造成等に対する支援を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光地域体制強化支援事業

地域の多様な関係者が連携し、マーケティングやデータ分析に基づき、各エリアの観光戦略に沿って観光地経営に取り組む「稼げる」観光地域づくりを推進するための組織づくりや人材育成等の支援を行った。

(ア) 人流データ利活用全体勉強会

多様化する旅行ニーズに対応するため、観光マーケティングに必要な人流データを用いた分析手法等に関する勉強会を開催した。

- a 時期：令和7年8月～令和8年2月（全4回）
- b 参加者：延べ181人（うちオンライン139人）

(イ) 人流データ利活用ブロック別勉強会

データに基づく地域課題の可視化や戦略案作成のため、グループワークを開催するとともに、専門家による伴走支援を実施した。

a 時 期：令和7年10月～令和8年1月（2地域・各3回）

b 派遣先：南薩地域等、北薩地域

(ウ) 観光ガイド・コーディネーター養成セミナー&ワークショップ

観光ガイド・コーディネーターを対象に、観光DXを活用したマーケティングによる新たな商品開発に関するセミナーを開催した。

a 時 期：令和7年9月～令和8年2月（全4回）

b 参加者：延べ30人（うちオンライン17人）

イ 観光地域高付加価値化促進支援事業

地域の多様な関係者が連携し、観光地域の高付加価値化に取り組む団体等に対し、その取組の支援を行った。

(ア) 対象となる事業

地域資源を最大限に活用し観光地としての魅力を高め、稼ぐ仕組みづくりの構築に資する事業（ハード整備事業を除く）

(イ) 対象者

観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に採択された観光地域であり、当該地域の市町村又は当該地域の観光地域づくりに参画する観光団体等

(ウ) 補助率・上限額

対象経費の1/2・最大3,500千円

(エ) 募集期間

令和7年7月4日～8月6日

(オ) 補助件数 5件

(カ) 補助対象者（観光地域）及び事業内容

a （一財）ひかりの郷（出水市）

宿泊者向けの郷土料理体験や焼酎蔵体験等の高付加価値な体験プランの実施など

b （名）荒木旅館（種子島）

種子島観光の調査研究、意見交換会の開催、中長期戦略の検討、先進地視察など

c （株）小幡総業（鹿児島市）

自社の越境ECサイトに旅行商品や特産品を新たに追加したほか、地域の観光スポットの動画を制作し、SNSを活用した情報発信の実施など

d （一社）屋久島観光協会（屋久島町）

「冬の屋久島」の魅力を伝えるための閑散期のモニターツアーの実施など

e （株）IFOO（霧島市）

霧島神宮駅を拠点にフードリトリートツアー（有機農園の野菜収穫体験プログラム）等の高付加価値な体験プランの造成・販売など

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成等への支援を実施した結果、各エリアにおける「稼げる」観光地域づくりの体制充実に繋がった。

(10) サイクルツーリズム推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

県内市町村及び関係団体等が連携・協力し、本県での自転車を活用した周遊観光の推進による交流人口の拡大を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 県サイクルツーリズム推進協議会等の開催

(ア) 県サイクルツーリズム推進協議会の開催

a 日 程：令和7年9月26日

令和8年2月18日

b 内 容：モデルルートの活用、走行環境整備方針について など

(イ) 県サイクルツーリズム推進協議会地域部会の開催

a 実 績：南薩地域部会・・・3回、北薩地域部会・・・3回、霧島・姶良地域部会・・・3回

大隅地域部会・・・3回、種子島地域部会・・・3回、屋久島地域部会・・・3回、大島地域部会・・・3回

b 内 容：インバウンドをターゲットとした誘客について、地域のサイクルイベントにおける誘客促進についてワークショップを実施 など

イ 県観光サイト内ホームページの改修

トップページの多言語化 など

ウ 「るるぶFREE九州沖縄山口サイクル旅&スタンプラリー」企画

九州各県の設定したサイクリングルートを周遊してデジタルスタンプを集めると、各県の特産品などが抽選で当たるデジタルスタンプラリーを実施した。

(ア) 実 施 者：(株) Geolocation Technology

(イ) 実施時期：令和7年7月12日～令和8年3月15日

エ サイクルツーリズムマーケティング調査

今後の施策立案に活かすため、サイクリストの属性や消費行動をアンケート調査により明らかにした。

(ア) 実 施 者：(一社) ルーツ・スポーツ・ジャパン

(イ) 実施時期：令和7年8月

オ サイクルステーション等整備支援事業

本県のサイクルツーリズムを推進するため、自転車による観光客の利便性向上を目的に、サイクルスタンド等の整備を実施する事業者等に対し補助を行っている。

令和7年度においては、協議会や県HPで当該事業の周知を行ったところであるが、事業実施に至らなかった。

(ア) 対象事業者：県内の市町村、観光協会、観光地域づくり団体、観光関連事業者、宿泊事業者、民泊事業者

(イ) 補助率・上限額

a サイクルステーション整備事業：サイクルスタンド、自転車専用工具等の整備費用の1/2・最大18千円

b サイクリストに優しい宿整備事業：自転車の保管設備、自転車専用工具等の整備費用の1/2・最大50千円

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

地域部会の開催等により県内の関係者間のネットワークが構築された。

登録実績					(単位：件)
	R4	R5	R6	R7	計
かごしまサイクルステーション	1	11	7	1	20
サイクリストに優しい宿	—	6	13	—	19

(11) 磯新駅設置支援事業 (PR観光課)

<1> 施策の目的

県全体の観光振興への波及を図るため、関係団体及び鹿児島市等と連携し、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産がある磯地区への新駅設置に係る取組に対する支援を行う。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

磯新駅設置協議会に対し、負担金を拠出した。

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

駅の開業に係る周知及び活用促進が図られ、本県観光の活性化につながった。

(12) 観光需要回復緊急特別対策事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

香港線の欠航や新燃岳の噴火等に加え、一連の大雨の影響を踏まえ、本県の観光振興を図るため、県内宿泊を伴う旅行に対して割引助成を実施することで旅行需要を喚起する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

- ・ 割引期間：令和7年12月1日～令和8年2月28日
※令和8年3月1日チェックアウト分まで
- ・ 販売期間：令和7年11月10日～令和8年2月28日
- ・ 利 用 数：296,766人泊
- ・ 補助金額：637,920,831円

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県内宿泊を伴う旅行に対して割引助成を実施し、約30万人泊の利用があり、旅行需要の喚起に寄与した。

(13) 鹿児島県観光サイト改修事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

県の観光サイト「かごしまの旅」を「南の宝箱 鹿児島」のプラットフォームとして位置づけ、閲覧者にとってより活用しやすいサイトに改善を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 改修内容

- （ア） トップページ及びイベントページにイベントカレンダーを設置
- （イ） 観光スポット詳細ページにデジタルマップを導入
- （ウ） 観光PR動画をトップページに追加

イ 公開期日

令和8年4月1日

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

イベントカレンダーの設置、デジタルマップ導入、トップページへの観光PR動画掲載の改修を実施したことにより、観光サイト情報発信力の強化が図られ、閲覧者の利便性向上に寄与した。

② 外国人観光客の来訪の促進等

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	187,899	46,455	3,818	137,626	161,812	44,956	2,760	114,096
内 海外誘客ステップアップ事業	130,007	43,009	3,218	83,780	114,130	43,009	1,960	69,161
内 国際クルーズ船誘致促進事業	50,892	1,946	600	48,346	47,682	1,947	800	44,935
内 베트남誘客プロモーション事業	7,000	1,500	—	5,500	—	—	—	—
計	187,899	46,455	3,818	137,626	161,812	44,956	2,760	114,096

海外誘客ステップアップ事業 翌年度への繰越額 14,000 千円

(1) 海外誘客ステップアップ事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

国や九州観光機構等と連携しながら、海外でのセールスやプロモーション・メディアや旅行会社の招請等を行い、本県への外国人観光客の誘客促進や観光消費額の向上を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 直行便市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

海外における本県の認知度向上を図るため、台湾・韓国の市場において「観光ビジネスパートナー」を起用し、SNSやWEBなどのメディアを活用した情報発信や旅行博覧会への出展など、BtoCをメインとしたプロモーションを行い、誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
香 港	Facebook、Instagram	489 回
台 湾	Facebook、Instagram	194 回
韓 国	Facebook、NAVER Blog	436 回
中 国	Wechat、小紅書（RED）	61 回

b 旅行博覧会等への出展

対象国	実施日	主な内容	備考
香 港	令和7年7月16日～22日	県香港事務所と連携し、香港最大規模のBtoC見本市に福岡県及び熊本県と合同出展し、本県の認知度向上を図った。	来場者数 約89万人
台 湾	令和7年5月28日～31日	教育旅行誘致セミナーを実施	参加校30校
	令和7年8月5日～8日	九州観光機構説明会・商談会に参加	参加社161社

c BtoB、BtoC向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
香 港	令和7年9月24日～10月14日	経由便を活用した鹿児島旅行の需要を喚起するため、香港在住者向けに、JR九州と連携したキャンペーンを行った。	参加人数126人
	令和7年9月15日～18日	現地インフルエンサー及びメディアを招請し、Instagram、Facebook、Threadsによる情報発信を行い、風評の払拭と観光需要の喚起を図った。	招請人数3人

対象国	実施日	主な内容	備考
香 港	令和 7 年 9 月 30 日～10 月 4 日	現地メディア社を招請し、Facebook 及び Instagram による情報発信を行った。	招請人数 1 人
台 湾	令和 7 年 12 月～令和 8 年 1 月	チャイナエアラインと連携し、対象の航空券を購入した個人旅行者へ鹿児島空港内で利用できるギフト券の配布及び広告キャンペーンを実施した。	－
	令和 7 年 1 月～令和 8 年 3 月	チャイナエアライン及びさんふらわあと連携し、誘客拡大を図るためのプロモーションを実施した。	－
	令和 8 年 1 月 12 日～1 月 15 日	台湾市場で FIT 旅行に影響力のある KOL を招請し、モデルコースの現地視察を行い、情報発信を行った。	招請人数 3 人
韓 国	令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月	韓国（ソウル）の旅行会社による本県旅行商品の販売促進に対し、テレビショッピングや新聞広告、SNS を活用したプロモーションを支援した。	－
中 国	令和 8 年 2 月 7 日～11 日	行楽 JAPAN を招請し、WeChat 及び小紅書（RED）による情報発信を行った。	招請人数 3 人
	令和 8 年 2 月 24 日～26 日	県上海事務所と連携して、国内在住の中国人インフルエンサーを招請し、SNS による情報発信を行った。	招請人数 1 人

(イ) 旅行会社等プロモーション

直行便市場に対し、現地セールスを実施し観光 P R や各市場の情報収集を行うとともに、在日を含む海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換等を通じて旅行商品化の促進を図った。

a 現地セールス

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
香 港	令和 7 年 7 月 19 日～23 日	5 社	2 人（観光連盟含む）
	令和 7 年 9 月 21 日～23 日	4 社	5 人（観光連盟含む）
	令和 7 年 10 月 26 日～28 日	8 社	9 人（観光連盟含む）
台 湾	令和 7 年 8 月 5 日～8 日	3 社	2 人（観光連盟）
中 国	令和 7 年 7 月 17 日～19 日	7 社	7 人（観光連盟含む）

b 視察受入

対象国	実施日	被招請者	視察地
香 港	令和 7 年 9 月 18 日～19 日	旅行会社 2 人	鹿児島市
	令和 7 年 12 月 18 日～20 日	旅行会社 2 人	鹿児島市、霧島市
	令和 8 年 1 月 19 日	2 人（観光連盟）	大阪市
	令和 8 年 3 月 3 日～5 日	旅行会社 5 人	鹿児島市、霧島市
台 湾	令和 7 年 4 月 2 日～5 日	航空会社 3 人	鹿児島市、日置市、霧島市、南さつま市
	令和 7 年 4 月 14 日～16 日	2 人	鹿児島市
	令和 7 年 11 月 11 日～15 日	旅行会社等参加者 2 8 人	鹿児島市、枕崎市、日置市、霧島市、いちき串木野市

対象国	実施日	被招請者	視察地
台 湾	令和7年12月4日～9日	旅行会社等7人	鹿児島市、指宿市、薩摩川内市、 日置市、霧島市、いちき串木野市、 南九州市、姶良市
	令和8年2月28日～3月1日	旅行会社3人	鹿児島市、指宿市、霧島市
韓 国	令和7年7月12日～15日	ゴルフ旅行会社12人	薩摩川内市、霧島市、姶良市
	令和7年9月17日～19日	ゴルフ旅行会社8人	霧島市
	令和8年1月21日～24日	メディア1人	鹿児島市、指宿市、日置市、霧島市
中 国	令和7年5月20日～24日	旅行会社16人	鹿児島市、薩摩川内市、霧島市

(ウ) OTAを活用したデジタルプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
香 港	令和7年9月22日～10月23日	香港で利用率の高いOTA「Trip.com」と連携して、モバイルアプリ上に本県の特集ページを設置し、香港人に訴求力のある本県の観光情報を掲載することで、鹿児島旅行の需要を喚起するとともに、広告バナーを表示させることにより、露出拡大及び予約数増加を図った。	・広告バナー表示回数 ：762,718回 ・特設ページ閲覧数 ：4,038回 ・予約数 ：約375件 (特設ページ設置期間)
台 湾	令和7年9月～令和8年3月	台湾の大手OTA「ezTravel」及び高付加価値商品を扱う「SAIOLOGY 匠生活」と連携し、鹿児島インアウト4泊5日のゴルフ商品を販売掲載し、インフルエンサーによる情報発信及び観光業界向けのTTN Mediaでのオンライン広告を通じて、本県ゴルフ商品の認知度向上及び誘客促進を図った。	・インフルエンサー 情報発信閲覧数 ：約9.2万回
韓 国	令和7年10月20日～11月19日	韓国で利用率の高いOTA「ヨギオテ」と連携して、モバイルアプリ上に本県の特集ページを設置し、広告バナーの掲載により露出誘導を図るほか、航空券や宿泊施設の割引キャンペーン、Instagram広告を実施した。	・宿泊予約 ：456件 (967泊/1,004名分) ・航空券予約 ：226名分
中 国	令和7年10月24日～11月19日	中国で利用率の高いOTA「Ctrip」と連携して、本県の特集ページを設置し、バナー広告の掲載により露出誘導を図った。	・宿泊予約 ：3,495件 ・航空券予約 ：140件

イ 戦略的市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場における本県の認知度向上を図るため、SNSやWEBなどのメディアを活用した情報発信や旅行博覧会への出展など、B to Cをメインとしたプロモーションを行い、誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
タイ	Facebook	48回
ベトナム	Facebook	50回
シンガポール 欧米豪	Facebook	53回

b 旅行博覧会等への出展

本県ブースを出展し、プロモーションを行った。

対象国	実施日	旅行博覧会名	来場者数
タイ	令和8年1月22日～25日	訪日旅行 FIT フェア	約30万人
シンガポール	令和7年5月17日	富裕層向けラグジュアリーイベント	80人
	令和7年7月12日～13日	旅行博プレイベント（Pre NATAS）	91人
	令和7年8月15日～17日	旅行博（NATAS）への出展	約10.6万人

c B to B、B to C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
タイ	令和7年7月4日～5日 令和7年8月5日～9日	タイ人インフルエンサーを招請し、インフルエンサー自身のFacebookと県公式Facebookによる情報発信を行った。	招請人数1人
	令和8年2月21日（ブース出展） 令和8年2月14日～21日（動画放映）	現地商業施設内の大型ディスプレイにて鹿児島観光PR動画を放映したほか、日本人音楽ユニットの現地公演に併せてブースを出展し、鹿児島の認知度向上を図った。	場所：バンコク
	令和8年1月22日～25日	現地旅行会社が旅行博で配布する旅行冊子に鹿児島の観光情報や旅行商品を掲載し、認知度向上・販売促進を図った。	TITFのブースにて配布
欧米豪	令和7年5月9日～10日	英国メディア社を招請し、英国市場において、歴史・旅行番組として定評のある番組にて情報発信を行った。	取材人数8人
	令和7年5月28日～6月1日	日本政府観光局（JNTO）と連携して、ロンドンにおける日本の情報発信拠点であるジャパンハウスロンドンの関係者を招請し、当該施設にて情報発信を行った。	招請人数1人
	令和7年8月12日～14日 令和7年11月22日～24日	訪日旅行に関心のある層へ影響力がある国内在住の外国人インフルエンサーを招請し、インフルエンサー自身のSNSを活用した、県内旅行の情報発信を行った。	招請人数2人

(イ) 旅行会社等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場に対し、現地セールスを実施し観光PRや各市場の情報収集を行うとともに、在日を含む海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換等を通じて旅行商品化の促進を図った。

a 現地セールス

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
タイ	令和8年1月21日～28日	15社	1人（観光連盟）
ベトナム	令和7年4月～12月	9社	2人（現地レップ）

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
シンガポール	令和7年4月10日～11日	5社	2人（観光連盟）
	令和7年10月21日～24日	3社	1人（観光連盟）
	令和8年1月16日	6社	3人（観光連盟含む）

b 視察受入

対象国	実施日	被招請者	視察地
タイ	令和7年11月17日～18日	映像制作会社2人	鹿児島市、垂水市、霧島市
	令和7年5月27日～31日	旅行会社3人 インフルエンサー1人	鹿児島市、霧島市、いちき串木野市、南九州市、姶良市
ベトナム	令和7年10月7日～10日	旅行会社1人	鹿児島市、指宿市、薩摩川内市、霧島市、いちき串木野市、南九州市、湧水町
シンガポール	令和7年7月22日～25日	旅行会社1人 コンサル会社1人	鹿児島市、枕崎市、指宿市、垂水市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、さつま町
欧米豪	令和7年8月19日～22日	手配会社1人	鹿児島市、霧島市、屋久島町
	令和7年10月4日～7日	旅行会社（加）9人	鹿児島市、霧島市、屋久島町
	令和8年1月14日～17日	旅行会社（英）2人 （西）4人	奄美大島、与論島

c B to B、B to C 向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	参加社数
ベトナム	令和7年9月7日～10日	九州観光機構主催の「ベトナム市場向け九州観光説明・商談会」に参加	21社
	令和8年3月8日～9日	Japan Vietnam Festival (JVF) に参加し、BtoC 向けの観光 PR を実施した。	約60名 (来場者数)
欧米豪	令和7年6月4日	世界自然遺産登録地と連携した商談会に参加	14社
	令和8年1月28日～29日	世界自然遺産登録地と連携したシンポジウム・商談会に参加	15社

(ウ) OTA を活用したデジタルプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
欧米豪	令和7年11月24日～令和8年1月23日	米国市場における本県の認知度向上と来訪促進を目的に、ターゲット層への訴求力が高い「Expedia」と連携したプロモーションを実施し、米国市場における OTA 利用者の行動傾向の分析や、次年度以降の費用対効果の高いデジタルプロモーションの方向性について検討を行った。	・広告バナー表示回数 ：3,455,708回 ・特設ページ閲覧数 ：24,557回 ・予約数 ：176件

ウ 海外交流会議観光関連事業

現地での観光セミナーや商談会等を実施し、鹿児島関連の旅行商品造成等を促進することにより、本県への誘客を図った。

(7) シンガポール（シンガポール交流会議）

対象国	実施日	実施内容	派遣者数
シンガポール	令和8年1月17日	シンガポールの中間層から富裕層を対象とした鹿児島県観光セミナーを実施し、鹿児島県の観光コンテンツを紹介	3人 (観光連盟含む)

エ インバウンド需要回復に向けた情報発信

(ア) 多言語観光サイトによる情報発信強化

a 海外メディア等との連携

海外のメディアへ記事を投稿することで、観光サイトへの誘導及び予約の増加を図った。

b コンテンツ充実のための取材・撮影

取材・撮影を通して、定期的に情報の更新を行うほか、より多くのユーザーをサイトに誘導する（SEO）対策を実施した。

c コンテンツ充実のための翻訳

日常的に発生する情報の更新に係る翻訳を行い、最新の情報を掲載した。

言語数：5言語（英語、韓国語、簡体字、繁体字、ベトナム語）

d 観光サイトの保守管理及び改修

各言語における特集ページの新設、観光情報の追加等を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

J N T Oや九州観光機構等と連携しながら、海外現地でのプロモーションを実施したほか、現地メディア及び旅行会社と連携した各種事業を実施した結果、本県の全体的な外国人延べ宿泊者数は対前年比 14.3%増となり、本県への誘客促進が図られた。（対前年度比：韓国 151.8%、中国：130.0%、香港：37.8%、台湾：105.3%、シンガポール：91.8%、タイ：71.9%、ベトナム：108.4%、アメリカ：131.0%、その他：105.5%）。

多言語観光サイトへのアクセス数においては、令和7年度は簡体字サイト及び韓国語サイトを除き、英語・繁体字・ベトナム語の各サイトで前年を下回った（対前年度比：71.3%）。

英語サイトについては、外部事業者によるリンク設定変更等の影響により、外部 SNS（Instagram）から特定ページへのアクセス数が大幅に減少したことがアクセス減少の要因の一つと考えられる。また、繁体字サイトについては、香港線の運休に伴う訪問客の減少や、災害関連のニュース、風評被害等の外的要因の影響を受け、旅行需要が低下したことが、アクセス数減少につながったものと考えられる。

多言語観光サイトへのアクセス数

（単位：回）

R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
142, 599	457, 759	1, 027, 527	1, 176, 481	838, 676

(2) 国際クルーズ船誘致促進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

クルーズ船の本県への更なる誘致を図るため、本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向けたプロモーション等を戦略的・一体的に展開する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 現地セールス活動

本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向け、クルーズ船社や旅行会社等へのセールス活動等を行った。

実 施 日	相 手 方
令和7年4月24日～25日	船社、旅行会社等
令和7年5月12日～13日	船社
令和7年6月23日～25日	旅行会社
令和7年8月7日	船社
令和7年8月21日	旅行会社
令和7年10月14日	船社
令和7年12月22日～23日	船社、旅行会社
令和8年1月15日	船社
令和8年1月22日～23日	船社、船舶代理店
令和8年1月28日～30日	船社

イ 船社等視察受入

実 施 日	訪 問 先
令和 7 年 8 月 25 日～27 日	始良市、薩摩川内市、長島町、垂水市、鹿屋市、霧島市
令和 7 年 9 月 18 日～19 日	霧島市、鹿屋市、肝付町
令和 7 年 11 月 15 日～16 日	屋久島町、薩摩川内市
令和 7 年 11 月 21 日	志布志市
令和 8 年 1 月 26 日～29 日	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町
令和 8 年 2 月 9 日	垂水市、霧島市
令和 8 年 2 月 16 日～18 日	鹿児島市、霧島市、奄美市、大和村、宇検村、龍郷町

ウ クルーズ船社等イベントへの参加

実 施 日	開 催 地	主な活動内容
令和 7 年 7 月 20 日	東京都	ブースを出展し、船社及び一般向けに鹿児島の魅力を P R
令和 7 年 9 月 10 日～12 日	ドイツ	国内連携港と合同でブースを出展し、船社に鹿児島の P R と各連携港を周遊するクルーズ造成を提案
令和 7 年 12 月 4 日	東京都	阪急交通社主催のクルーズ説明会に併せて、一般向けに鹿児島の魅力を P R するとともに、酒造・お茶会社と連携したブースを出展
令和 8 年 2 月 2 日	東京都	東京都主催のクルーズセミナーに参加し、船社や旅行会社と意見交換を実施

エ 県内各地への経済効果波及のための支援

クルーズ船の経済効果を県内全体に波及させるため、鹿児島発着クルーズ、船舶や新幹線を活用した鹿児島湾奥・大隅方面、北薩方面へのツアー催行の取組への支援を行った。

(ア) 鹿児島発着クルーズ造成支援

a 対象事業者

クルーズ船運航会社、クルーズ船（船の一部客室を含む）をチャーターする旅行会社

b 補助率・上限額

- ・補助率：広告宣伝費用の 1/2
- ・上限額：発着 500 千円、発または着のみ 250 千円

c 補助件数：1 件

(イ) 新たな寄港地観光ツアー造成支援

a 対象事業者

旅行業法（昭和 27 年法律第 239 号）第 3 条の規定による登録を受けた事業者又は旅行業法第 23 条の規定による登録を受けた事業者

b 補助率・上限額

- ・補助率：ツアー催行経費 200 千円及び水上交通または新幹線活用経費の 1/2
- ・上限額：400 千円

c 補助件数：4 件

オ 鹿児島クルーズセミナー開催

県民にクルーズ旅行の基本や魅力を発信し、理解の促進および利用者の拡大を図った。

- ・実施日：令和 7 年 11 月 23 日
- ・概 要：クルーズライター等の講演、クルーズ旅行相談ブース、クルーズ関連グッズ等が当たる抽選
- ・場 所：よかど鹿児島本店ビル 1 階

カ クルーズ船の経済効果調査

鹿児島港に寄港するクルーズ船乗客の行動、消費額等の調査・分析を行った。

キ ドルフィンポート跡地管理

シャトルバス停留所となっているドルフィンポート跡地の草刈り（夏、冬）及び台風 12 号支障木撤去・枝葉等回収を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

寄港数の増加・定着化に向けて、国内外の船社等にセールスや情報発信を行ったことにより、寄港地及び観光地としての本県の認知度維持・向上が図られた。

県内各港クルーズ船入港実績

（単位：回）

港 名	R5 年	R6 年	R7 年
鹿 児 島	82	105	129
志 布 志	—	—	—
指 宿	—	—	1
里	1	2	4
長 浜	—	1	—
中 甕	2	1	1
瀬々野浦	—	—	1
片 野 浦	—	—	1
蘭 牟 田	1	2	—
西 之 表	1	3	7
宮 之 浦	13	19	12
名 瀬	17	11	22
古 仁 屋	1	4	1
湾	3	2	—
平 土 野	1	—	—
和 泊	—	—	—
伊 延	2	1	3
与 論	1	—	1
計	125	151	183

(3) ベトナム誘客プロモーション事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

ベトナムとの定期便就航に向けて、2WAYチャーター便の運航に必要な支援を行うとともに、ベトナム航空と連携した現地旅行会社向けの商談会等を行い、旅行商品造成・販売を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

関係者間での実施に向けた調整に時間を要し、商品造成や販売等に必要な準備期間を十分に確保できないことから、実施困難と判断したため、事業実施に至らなかった。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

令和 7 年度の施策の実施はなかった。

③ スポーツキャンプ等の誘致

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	187,984	744	172,022	15,218	187,351	743	172,022	14,586
内 訳	スポーツ観光王国か ごしま確立事業	744	—	8,093	8,204	743	—	7,461
	ジャパンアスリート トレーニングセンタ ー大隅施設管理運営 事業	—	90,000	7,125	97,125	—	90,000	7,125
	ジャパンアスリート トレーニングセンタ ー大隅施設修繕事業	—	82,022	—	82,022	—	82,022	—
計	187,984	744	172,022	15,218	187,351	743	172,022	14,586

(1) スポーツ観光王国かごしま確立事業（スポーツ振興課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

スポーツを通じた観光客の増加を図るため、官民一体となってスポーツキャンプ・大会誘致を行うとともに、参加者・観客への本県観光PRに取り組む。

＜2＞ 施策の実施状況(アウット)

ア スポーツキャンプ対策県連絡会の開催

	開催期日	主 な 内 容	参加者数
第1回	令和7年6月24日	・ 令和6年度スポーツキャンプ・合宿状況調査結果について ・ 各市町村の合宿誘致方針について ・ 本県で開催予定の大規模スポーツ大会について	38人
第2回	令和7年10月23日	・ 講演「地域と連携したスポーツ合宿の食事づくり」 ・ スポーツ合宿に係るアンケート調査結果	39人

イ スポーツ合宿等の誘致・受入強化

(ア) 県外大学生を対象としたアンケート調査

県外の大学部活動やサークルを対象に、来訪者数や宿泊を含めた滞在状況、本県スポーツ合宿認知度や興味度、スポーツ合宿を実施する場合の情報の取得方法等のアンケート調査を実施した。

(イ) スポーツ合宿等誘致・受入に係るホームページの運営

スポーツ合宿に係る公式HP及び公式LINEアカウントを活用し、より効果的かつ円滑なスポーツキャンプ・合宿等の誘致・受入体制づくりを推進した。

ウ 本県でキャンプを行うプロスポーツチーム等に対する激励品の贈呈

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
受入団体数	22団体	25団体	32団体	29団体	25団体

エ 本県でキャンプを行うプロスポーツチームの情報発信

(ア) キャンプ情報案内所の設置

- ・ 期間：令和8年1月9日～2月24日
- ・ 場所：鹿児島空港国内線ターミナル(1階到着ロビー)

(イ) 「かごしまプロスポーツキャンプ電子ガイドブック紹介カード及びポスター」による周知

- ・ 期間：令和8年1月15日～2月24日
- ・ 場所：受入市町村、鹿児島空港、観光案内所、県内大型スポーツ用品店等

(ウ) 「かごしまプロスポーツキャンプ地周辺を巡るデジタルスタンプラリー」の実施

・期間：令和8年1月16日～2月15日

・応募者数：50人

＜3＞ 施策の成果（アウトカム）

県内で実施される春季プロスポーツキャンプ等の周知を図ることにより、交流人口の拡大や地域活性化に寄与した。

県外からのスポーツキャンプや合宿の延べ宿泊者数については、164,913人泊と「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催された令和5年度に次いで過去2番目となった。

【スポーツキャンプ・合宿の受入状況】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ宿泊者数（人泊）	62,692	115,952	246,695	157,940	164,913
対前年度比増減（％）	36.5	85.0	112.8	△35.98	4.4
対前年度増減数（人泊）	16,747	53,260	130,743	△88,755	6,973
実人数（人）	12,245	21,341	72,807	28,458	31,996
団体数（団体）	574	860	1,436	1,111	1,212

（2）ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業（スポーツ振興課）

＜1＞ 施策の目的

スポーツ合宿等の実施により、大隅地域における交流人口の拡大や地域活性化を図るため、トップアスリート等の合宿誘致・受入及び施設維持管理等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

スポーツ合宿等を実施し、大隅地域における交流人口の拡大や地域活性化を図った。

ア 事業内容

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の管理運営の委託（指定管理者：ニチカスクリエート・ミズノ共同事業体）

イ 利用状況

利用者数 60,444人

ウ ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅連絡会

実施日：令和7年11月13日

内 容：これまでの利用実績等、令和7年度の取組（実績・計画）、日本陸連認定施設及びJOC認定施設について、東京2025世界陸上の事前合宿について、第20回アジア競技大会2026について

＜3＞ 施策の成果（アウトカム）

ア 主な成果

施設利用者については、年間60,444人で、対前年度比10%増となった。

イ 令和7年度の主な利用者

令和7年度は、パリオリンピック・パラリンピック日本代表の以下の選手をはじめとするトップアスリート61人が利用した。

泉谷 駿介 選手（パリオリンピック110mハードル日本代表）

村竹 ラシッド選手（パリオリンピック110mハードル日本代表）

福部 真子 選手（パリオリンピック100mハードル日本代表）

田中 希実 選手（パリオリンピック5,000m、1,500m日本代表）

井谷 俊介 選手（パリパラリンピック200m日本代表）

（3）ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設修繕事業（スポーツ振興課）

＜1＞ 施策の目的

日本最高水準の陸上競技に特化したトレーニング施設としての機能を維持するため、個別施設の長寿命化計画に基づく修繕を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

投てき練習場の芝生土層の修繕工事の実施

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

日本最高水準の陸上競技のトレーニングに特化した施設として、より一層の受入体制の強化を推進した。

(4) オール鹿児島でのおもてなしの推進

① 全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	17,091	6,723	—	10,368	17,089	6,722	—	10,367
内 外国人観光客受入体制整備事業	17,091	6,723	—	10,368	17,089	6,722	—	10,367
計	17,091	6,723	—	10,368	17,089	6,722	—	10,367

(1) 外国人観光客受入体制整備事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

国や九州観光機構等と連携しながら、鹿児島を訪れた海外の観光客が快適に周遊できるように、観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などの受入体制の整備を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光案内の実施

国際観光振興機構の「J N T O認定外国人観光案内所」（外国人のための外国語による観光案内所）とタイアップして、外国人観光客の利便を図るための観光案内、情報提供を行った。

- ・ J N T O認定外国人案内所：23 か所（R8.3 末時点）

イ 全国通訳案内士試験セミナー開催

外国語で観光案内を行う全国通訳案内士（国家資格）になるための試験概要や資格についての説明を行うとともに、現役の通訳案内士による講演等を実施した。

- ・ 実 施 日：令和7年6月21日
- ・ 参 加 者：23 人

ウ 通訳ガイド有資格者レベルアップ研修セミナー開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図る一環として、全国通訳案内士（国家資格）等のレベルアップに向け、座学講習及び実務研修を実施した。

- ・ 実 施 日：令和7年6月～8月（座学3回、実務1回）
- ・ 参 加 者：延べ55 人

エ 外国人観光客受入体制推進講習会の開催

受入体制の幅広い充実と整備向上を目的に外国人観光客受入体制推進講習会を開催した。

- ・ 実 施 日：令和8年2月20日
- ・ 参 加 者：57 人

オ フードダイバーシティセミナーの実施

世界で増加傾向にあるヴィーガン等の食の多様性に対応した受入体制の充実を図るため、セミナー及びメニュー開発を実施した。

- ・ 実 施 日：①令和8年1月26日、②令和8年1月27日
- ・ 参 加 者：①18 人、②16 人

カ 多言語コールセンターの運営

本県を訪れた外国人観光客が快適に周遊できるよう、多言語コールセンターを設置し、24 時間 365 日対応の電話通訳サービスを提供した。

- ・ 開 設 日：平成30年7月27日
- ・ 対 象：宿泊施設、観光案内所、観光施設、交通事業者、飲食店、小売店、医療機関、警察及び外国人観光客
- ・ 毎月平均の利用件数

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
10 件	27 件	25 件	36 件

キ 観光多言語パンフレットの作成

本県への外国人観光客誘致を図るため、外国語パンフレットを作成した。

- ・英語
- ・韓国語
- ・中国語（繁体字）
- ・中国語（簡体字）
- ・タイ語

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などにより、受入体制の整備向上が図られた。

16 原油価格・物価高騰等総合緊急対策

(1) 原油価格・物価高騰等総合緊急対策

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	1,793,856	1,793,856	—	—	756,379	756,379	—	—
内 地域公共交通燃料油 価格高騰対策事業	35,456	35,456	—	—	24,518	24,518	—	—
訳 観光需要回復緊急特 別対策事業（再掲）	1,758,400	1,758,400	—	—	731,861	731,861	—	—
計	1,793,856	1,793,856	—	—	756,379	756,379	—	—

観光需要回復緊急特別対策事業 翌年度への繰越額 937,700 千円

(1) 地域公共交通燃料油価格高騰対策事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

燃料油価格高騰により厳しい経営環境にある貸切バス事業者に対し、燃料油購入の負担軽減を行い、引き続き事業継続がなされるよう支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

- ・ 申 請 数：112 件
- ・ 補 助 数：112 件
- ・ 補助金額：17,569,200 円

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

貸切バス事業者に対し燃料油購入の負担軽減を行い、引き続き事業継続がなされるよう支援することができた。

(2) 観光需要回復緊急特別対策事業（PR観光課）（再掲）

11 (3) ①の(12)において前述